

# 南相馬市統計集

まちDス2025



南相馬市

## 南相馬市統計集「まちDス」について

本統計集は、「まちのことをDataで考えるスタートにしよう」という意味を込めて、「<sup>まちです</sup>まちDス」と名づけました。

作成にあたっては、次の3つの「-ize」(アイズ)の視点を基本としています。

- ・ 市政の現状の定量化 (fixed quantitize)
- ・ 分析のための比較化 (comparisonize)
- ・ 目でみる暮らしの視覚化(visionize)

本統計集が、市民生活向上のための指標として、多くの皆様に幅広く活用いただければ幸いです。

## 便利なツールも、ぜひご活用ください

統計データの閲覧だけでなく、グラフ作成もできる便利なツールもあります。

### e-Stat 政府統計の総合窓口

e-Stat は、日本の統計が閲覧できる政府統計ポータルサイトです。各種統計調査の結果を閲覧でき、地域や項目を抽出したグラフ表示やダウンロードなどができます。



### RESAS 地域経済分析システム

地域経済に関するビッグデータを地図上やグラフで「見える化」できるシステムです。マーケティングや観光、人口、産業構造、地域経済循環、農林漁業、医療・介護など、他の地域との比較・分析もできます。



### (南相馬市の1日)

出生	死亡	転入	転出	婚姻	離婚
0.7人	2.6人	4.9人	5.8人	0.5件	0.2件
(令和7年)	(令和7年)	(令和7年)	(令和7年)	(令和5年)	(令和5年)

参照：8ページ

参照：8ページ

参照：8ページ

参照：8ページ

参照：25ページ

参照：25ページ

年間データを日数(365日)で除算した参考値です。

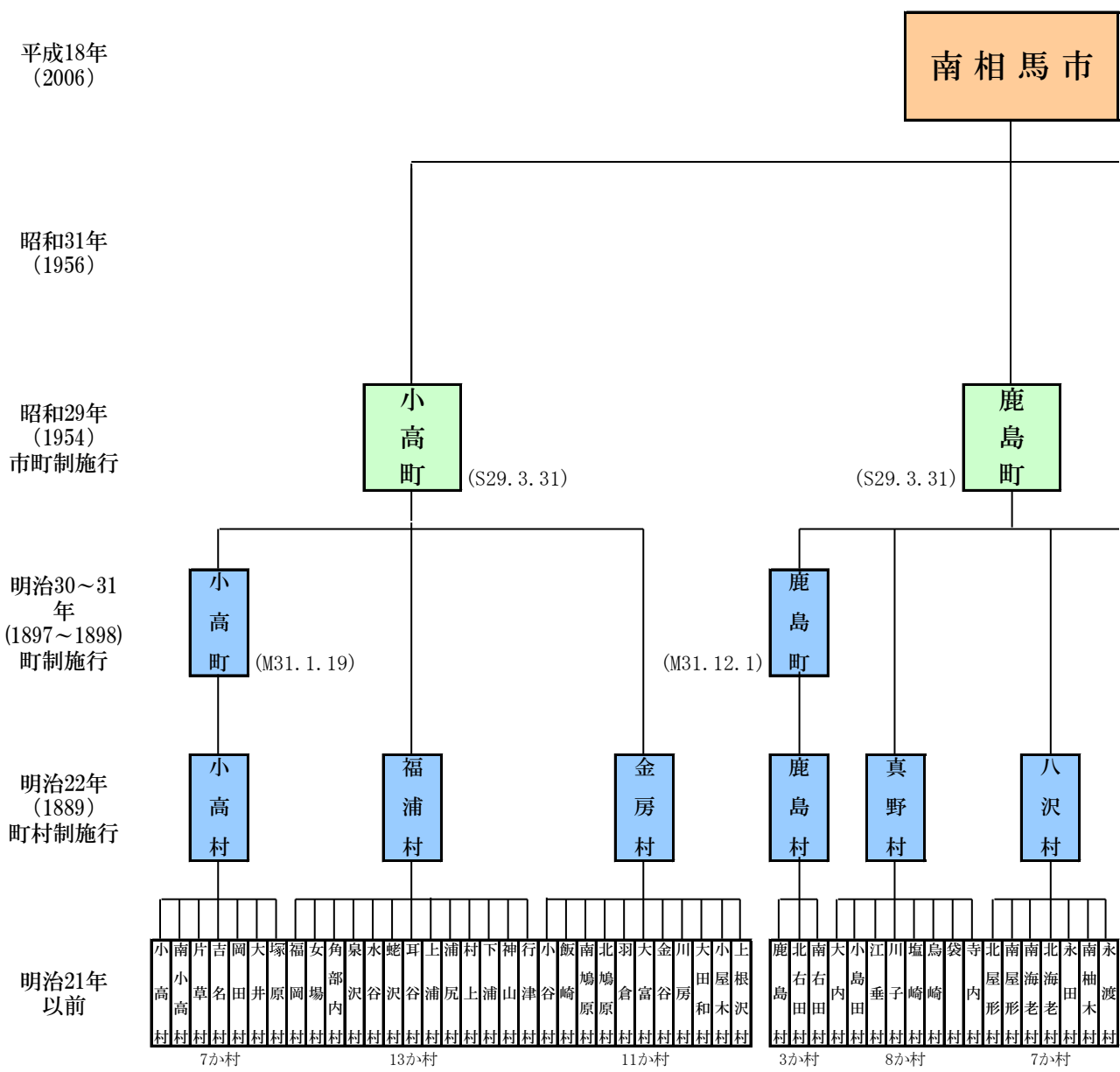
# 目次

1	沿革	1
2	自然	
(1)	面積	3
(2)	面積【13市比較】	3
(3)	地目別の土地面積	3
(4)	月別平均気温	4
(5)	月別平均降水量	4
3	人口	
(1)	人口・世帯・1世帯当たりの人員	5
(2)	人口【13市比較】	5
(3)	年齢別人口	5
(4)	世帯構成人員	6
(5)	高齢化率【13市比較】	6
(6)	高齢者1人を支える生産年齢人口	6
(7)	人口構造	7
(8)	人口動態	8
(9)	昼夜間人口	8
(10)	主な流出・流入人口	8
(11)	高齢者単身世帯数と総世帯数に占める割合	9
(12)	行政区別高齢化率	9
4	農林水産業	
(1)	農家数	11
(2)	水稻作付面積及び収穫量	11
(3)	漁業経営体	12
(4)	海面漁業漁獲量	12
5	労働・商工業	
(1)	産業別就業者数	13
(2)	相双職業安定所有効求人倍率	13
(3)	民営事業所数・従業者数	13
(4)	商業（卸売業・小売業）の事業所数・従業者数	14
(5)	商業（卸売業・小売業）の年間販売額	14
(6)	工業（製造業・従業者4人以上の事業所）の事業所数・従業者数	14
(7)	工業（製造業・従業者4人以上の事業所）の製造品出荷額	15
6	住宅	
(1)	利用関係別新設住宅	16
(2)	空家の状況	16
(3)	1か月当たり家賃別貸家数	17
(4)	1か月当たり平均家賃	17
7	所得・物価	
(1)	市内総生産額	18
(2)	1人当たり市町村民所得	18
(3)	1人当たり市町村民所得【13市比較】	19
(4)	土地標準価格（平均価格）	19
(5)	住宅地標準価格（平均価格）【13市比較】	19

<b>8 行財政</b>	
(1) 歳入決算額と市税収入	20
(2) 歳出決算額と公債費	20
(3) 積立基金現在高	20
(4) 地方債現在高(普通会計)	21
(5) 財政力指数【13市比較】	21
(6) 実質公債費比率【13市比較】	21
(7) 職員数	22
(8) 人口1万人当たりの職員数(普通会計)【13市比較】	22
<b>9 福祉・健康</b>	
(1) 合計特殊出生率【13市比較】	23
(2) 国民健康保険被保険者数	23
(3) 介護保険料(第1号被保険者・基準額(年額))	23
(4) 介護保険料(第1号被保険者・基準額(年額))【13市比較】	24
(5) 要介護等認定者数	24
(6) 要介護等認定率【13市比較】	24
(7) 婚姻・離婚件数	25
(8) 生活保護法による保護率	25
(9) 生活保護法による保護率【13市比較】	25
(10) 医療施設数	26
(11) 医療従事者数	26
(12) 看護師・准看護師数	26
(13) 小児生活習慣病健康診断結果項目別平均値(小学4年生)	27
(14) 小児生活習慣病健康診断結果項目別平均値(中学1年生)	27
<b>10 環境・安全</b>	
(1) 上水道施設普及率	28
(2) 上水道施設普及率【13市比較】	28
(3) ごみ処理状況	28
(4) 1日平均一人当たりのごみ排出量【13市比較】	29
(5) リサイクル率【13市比較】	29
(6) 交通事故発生状況及び死者数	29
(7) 火災件数	30
(8) 消防団員数	30
<b>11 教育・文化</b>	
(1) 保育園園児数	31
(2) 幼稚園園児数	31
(3) 小学校児童・学級数	31
(4) 放課後児童クラブの状況	32
(5) 中学校生徒・学級数	32
(6) 高等学校生徒・学級数	32
(7) 市内高等学校卒業後の状況	33
(8) 生涯学習施設・スポーツ施設利用者数	33

# 1 沿革

平成18年1月1日に、旧小高町、旧鹿島町、旧原町市の1市2町が合併して、南相馬市が誕生しました。合併の歴史を振り返ってみると、明治22年の町村制の実施以前、105か村あった村が、117年の間に幾度かの合併を経て、現在の南相馬市1市となっています。





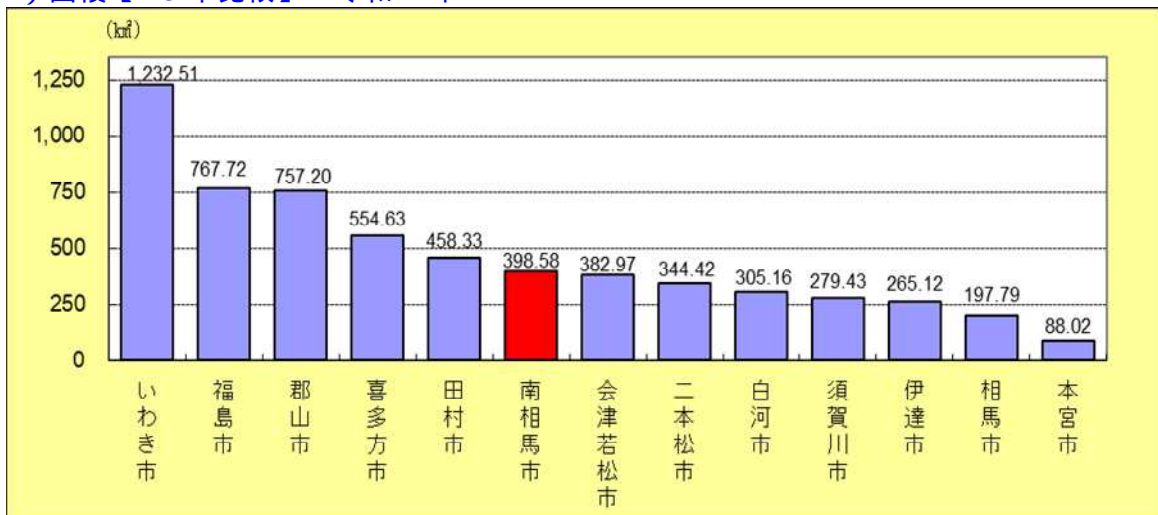
## 2 自然

### (1) 面積



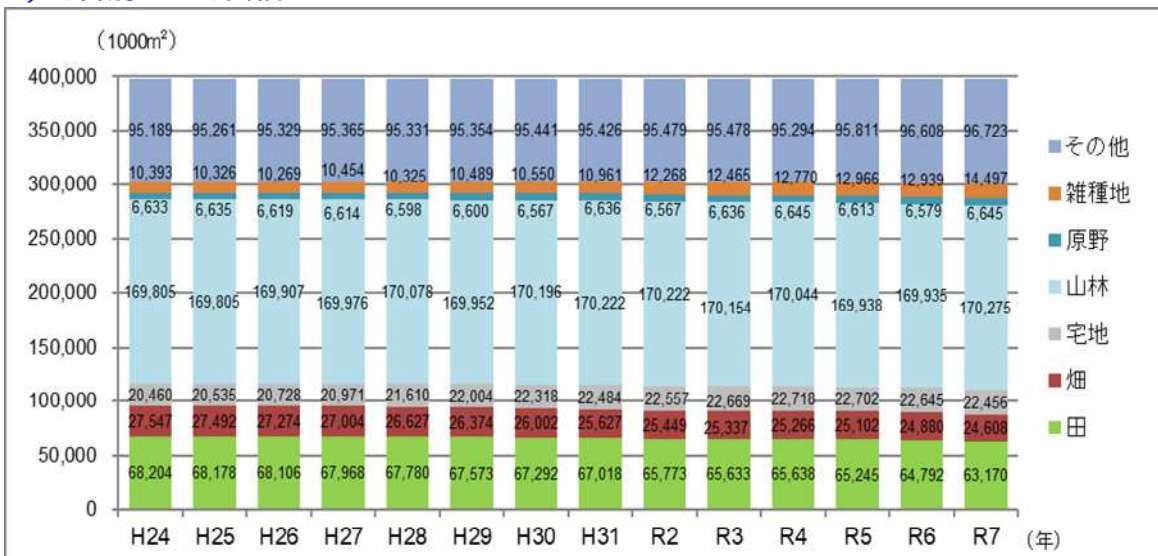
出典：国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」（令和7年10月1日現在）

### (2) 面積【13市比較】/令和7年



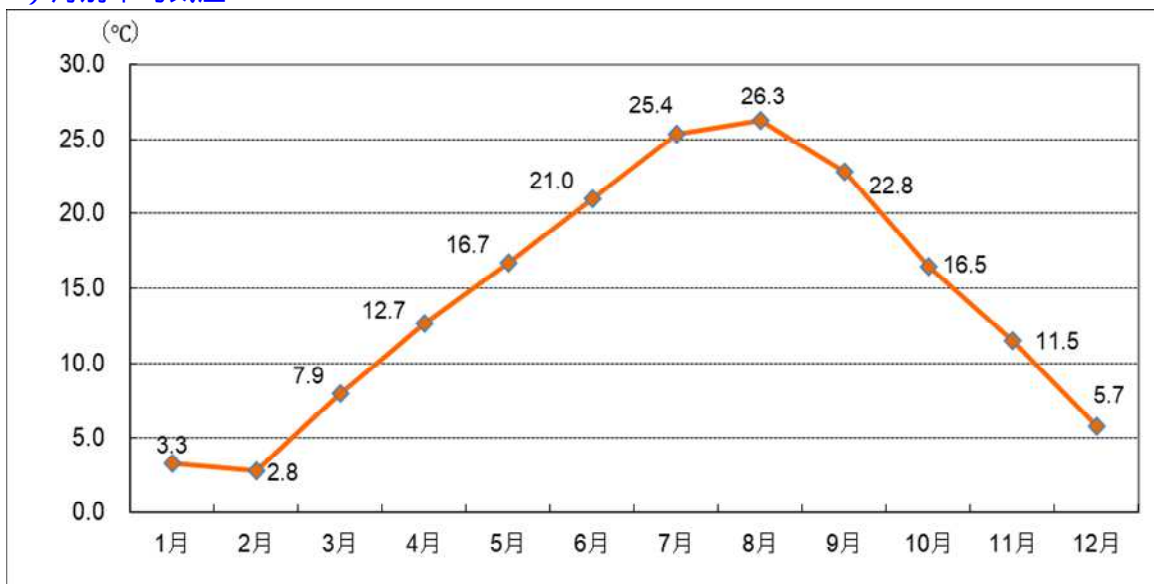
出典：国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」  
会津若松市は一部境界未定

### (3) 地目別の土地面積



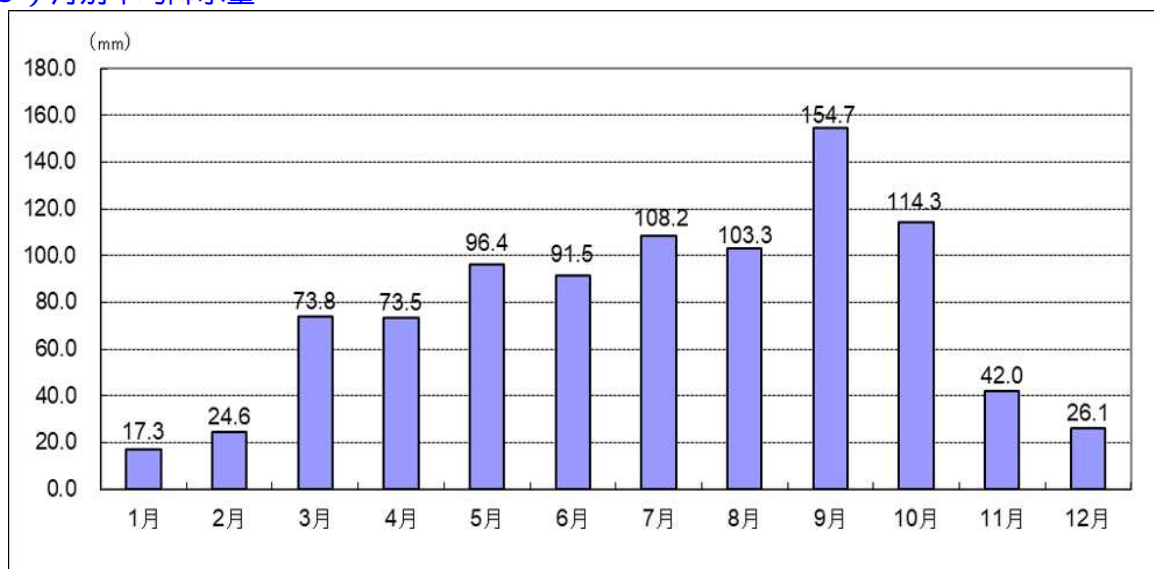
出典：福島県企画調整部統計課編「福島県統計年鑑」より作成  
池沼、牧場、鉱泉地を除く

( 4 ) 月別平均気温



出典：南相馬市気象観測システムデータから作成（観測地点：南相馬市役所）  
R3年～R7年の平均値

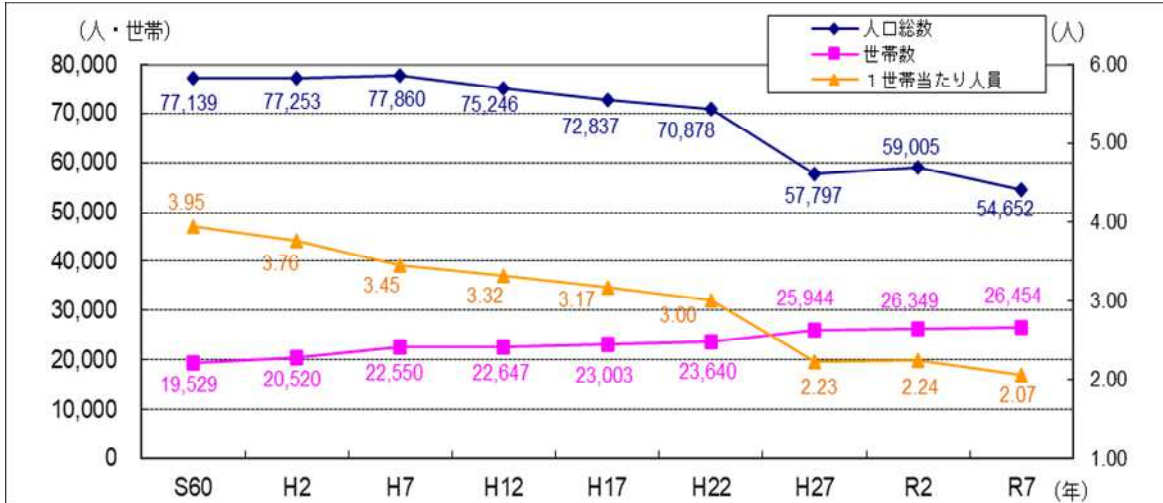
( 5 ) 月別平均降水量



出典：南相馬市気象観測システムデータから作成（観測地点：南相馬市役所）  
R3年～R7年の平均値

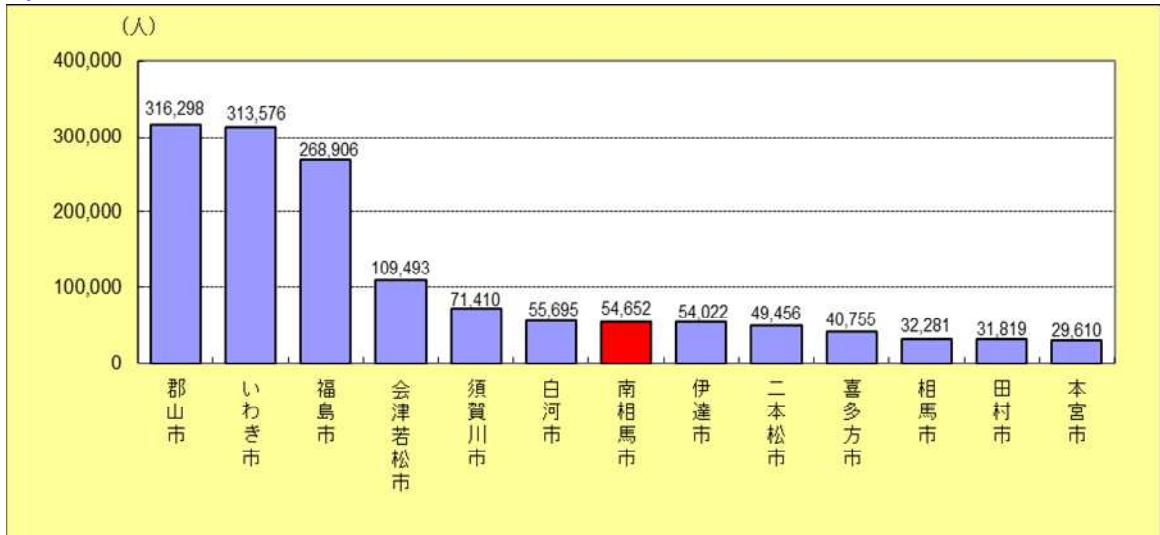
### 3 人口

#### (1) 人口・世帯・1世帯あたり人員



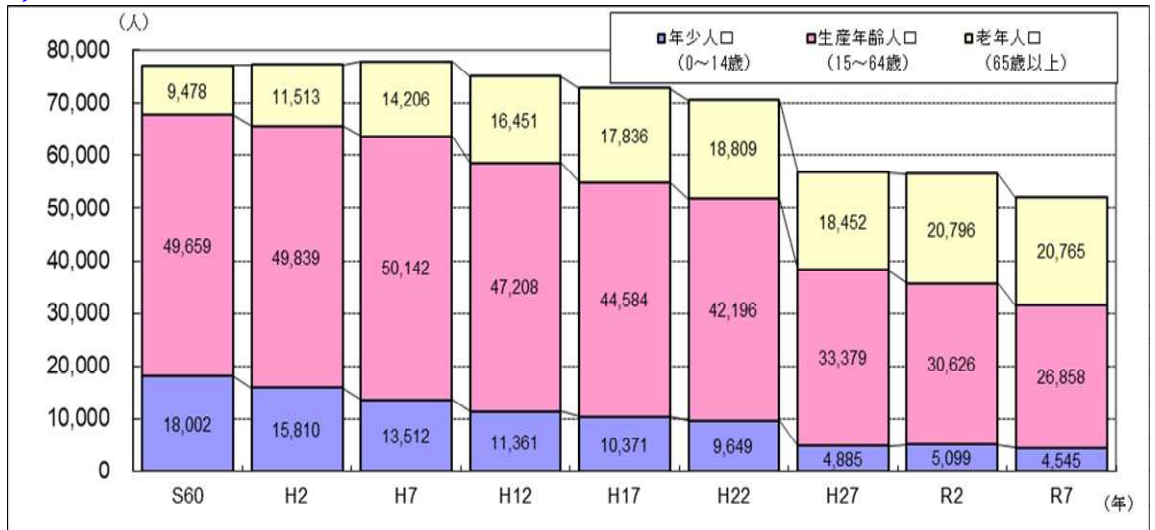
出典：総務省「国勢調査」(H17年以前は小高町・鹿島町・原町市の合算)  
R7年は福島県企画調整部統計課編「福島県の推計人口」より作成(10月1日現在)

#### (2) 人口【13市比較】/令和7年



出典：福島県企画調整部統計課編「福島県の推計人口」より作成(令和7年10月1日現在)

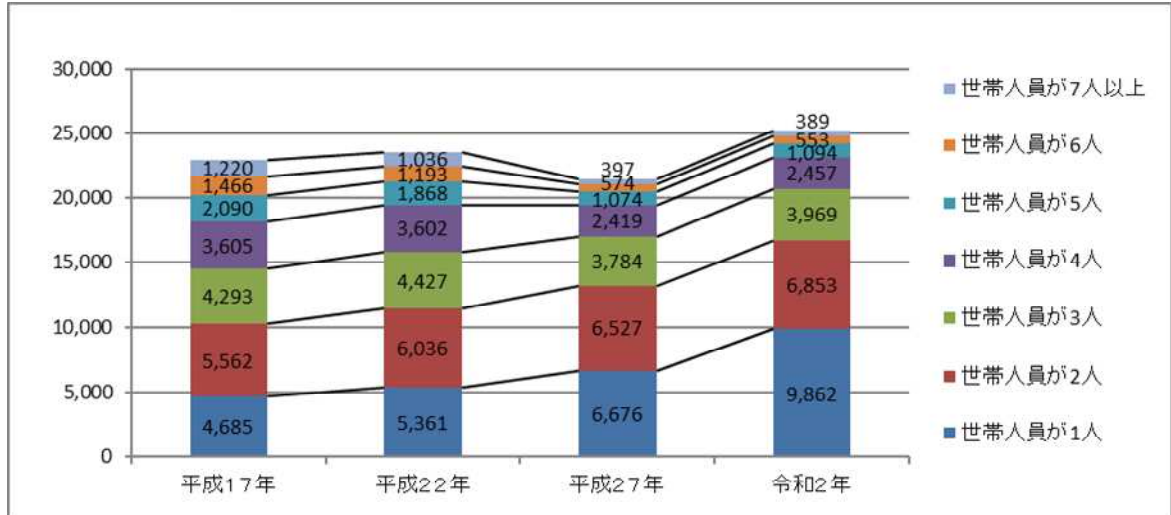
#### (3) 年齢別人口



出典：S60年～R2年は総務省「国勢調査」(H17年以前は小高町・鹿島町・原町市の合算)  
R7年は福島県企画調整部統計課編「福島県の推計人口」より作成(10月1日現在)  
総数が3-(1)と一致しないのは年齢不詳が含まれているため

<sup>1</sup> 国勢調査：住民登録のない人、外国人も含め常住している全ての住民・世帯を対象として実施する5年ごとの調査(各年10月1日現在、総務省)

(4) 世帯構成人員（一般世帯）

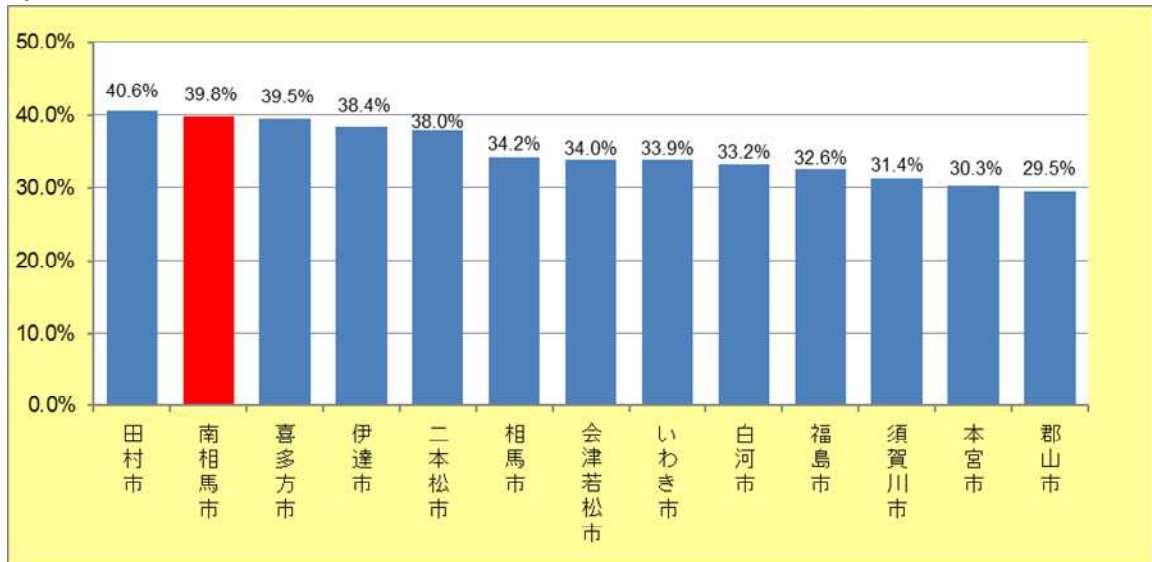


出典：総務省「国勢調査」

平成17年は小高町・鹿島町・原町市の合算

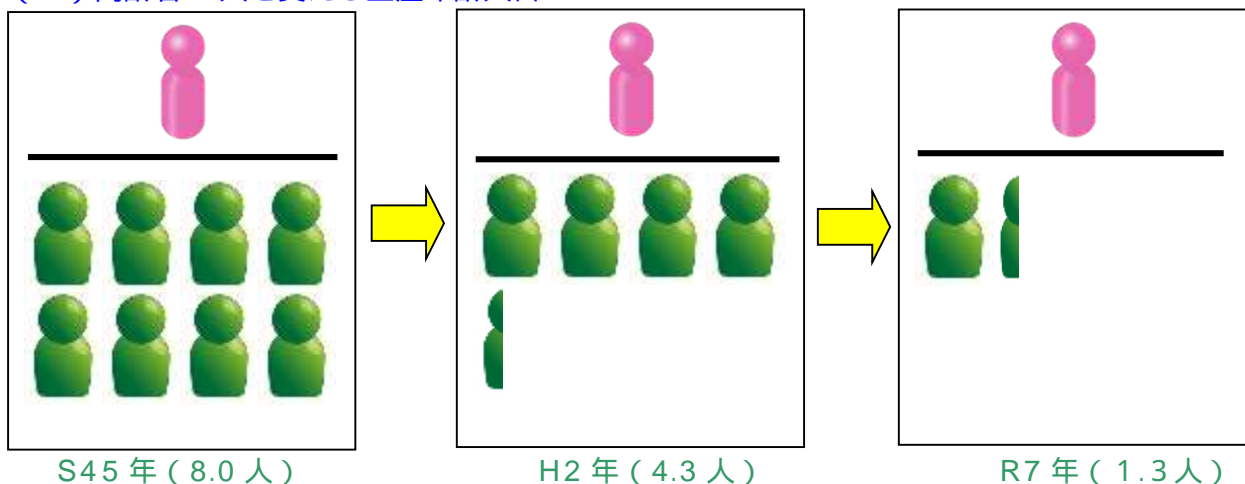
世帯数は「一般世帯」と「施設等の世帯」で構成されており、本表は「一般世帯」のみのため総数が3-(1)と一致しない

(5) 高齢化率<sup>2</sup>【13市比較】/令和7年



出典：福島県企画調整部統計課編「福島県の推計人口」より作成（令和7年10月1日現在）  
年齢不詳を除く

(6) 高齢者1人を支える生産年齢人口

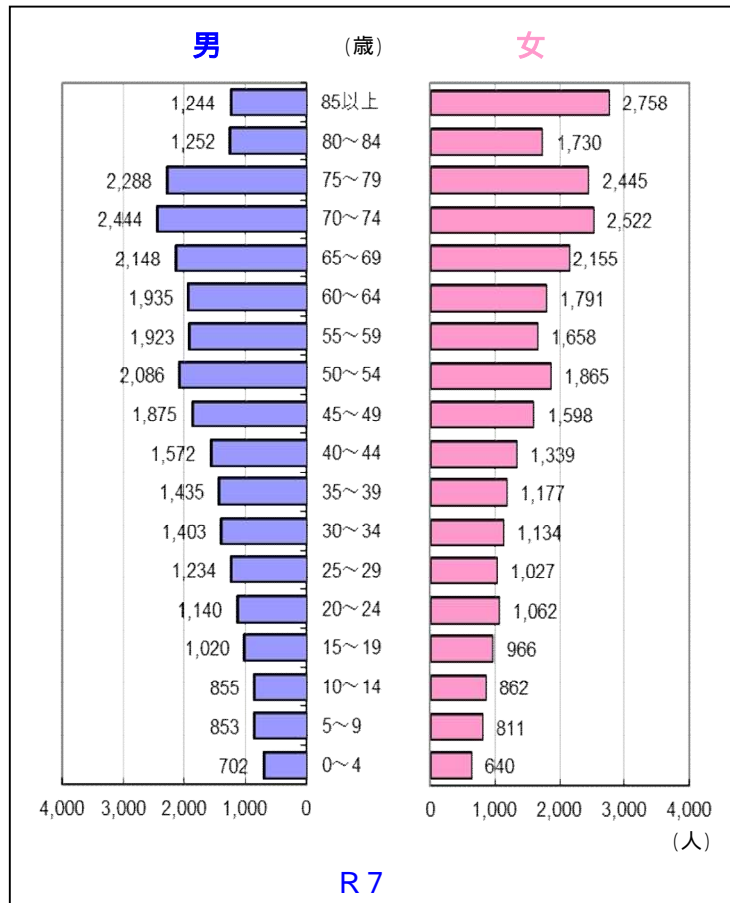
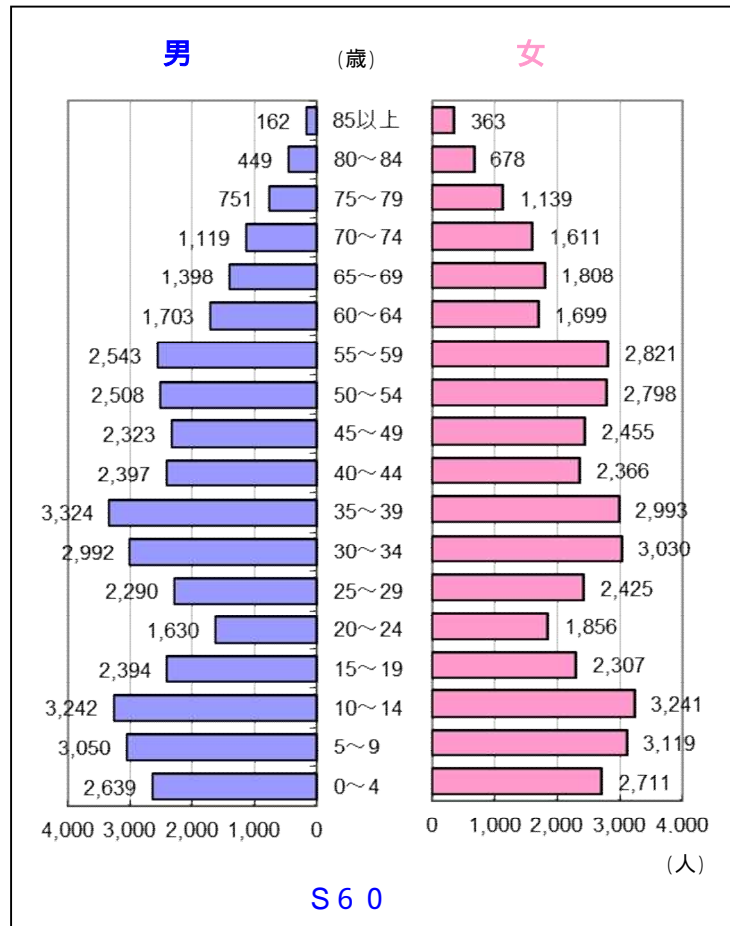


出典：S45年・H2年は総務省「国勢調査」

R7年は福島県企画調整部統計課編「福島県の推計人口」より計算

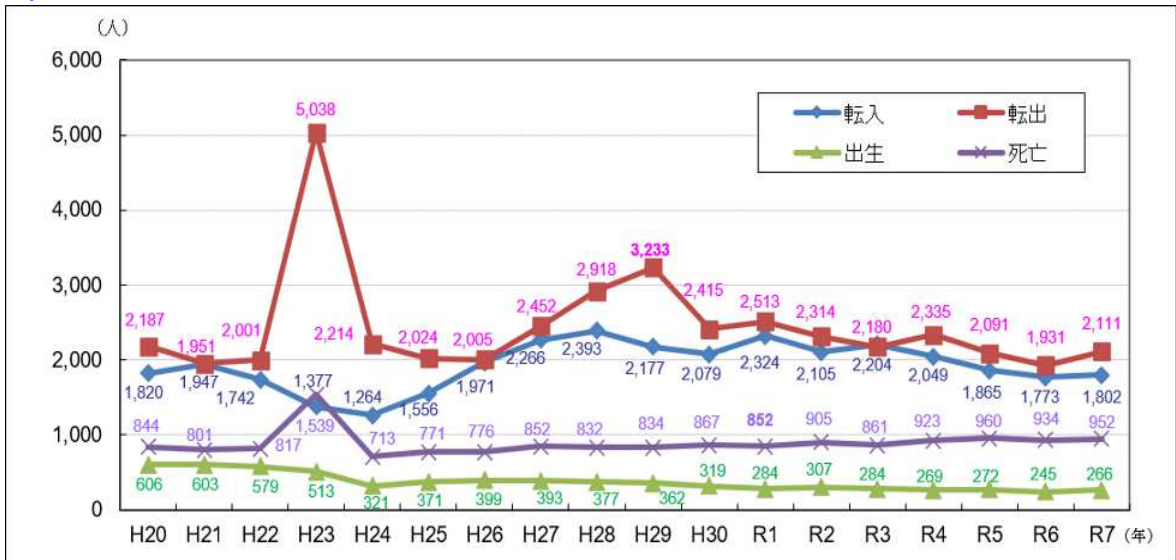
<sup>2</sup> 高齢化率：人口に占める65歳以上の割合

(7) 人口構造



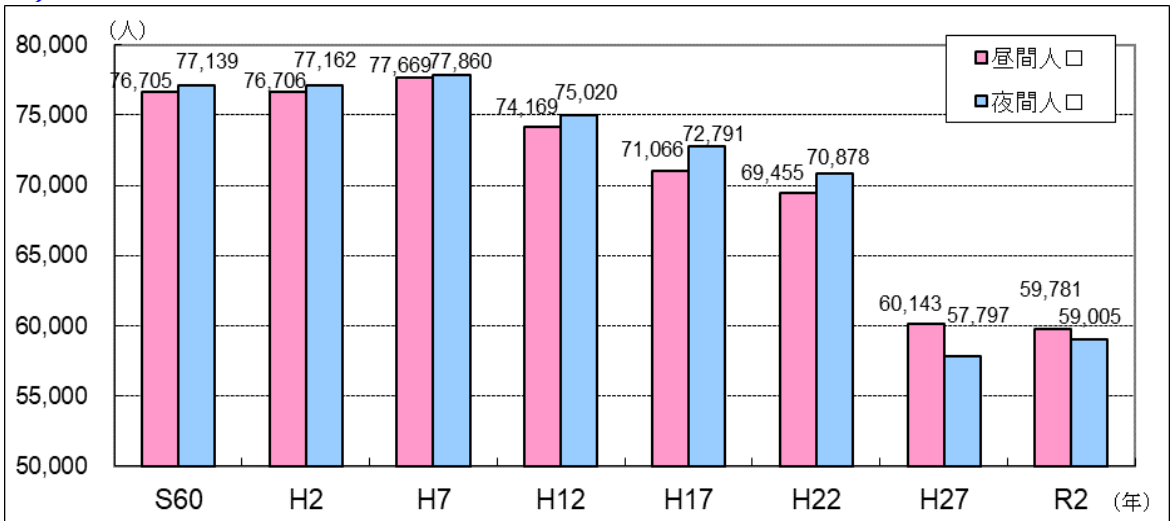
出典：S60年は総務省「国勢調査」の小高町・鹿島町・原町市の合算  
 R7年は南相馬市住民基本台帳に登録されている年齢別人口（令和7年10月31日現在）

( 8 ) 人口動態



出典：福島県企画調整部統計課編「福島県の推計人口」より作成

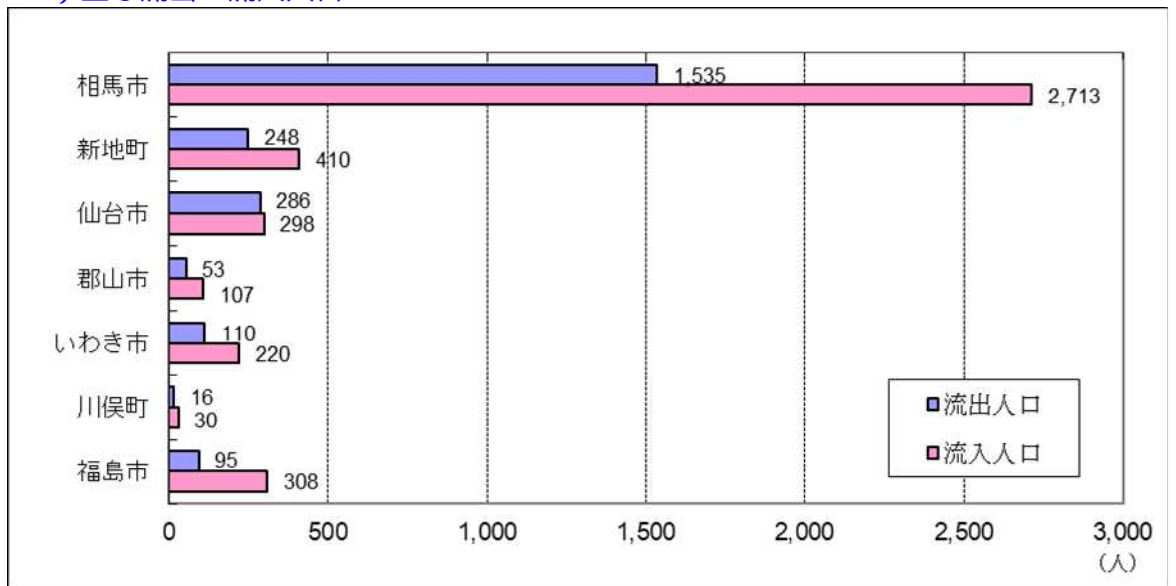
( 9 ) 昼夜間人口



出典：総務省「国勢調査」

H17年以前は小高町・鹿島町・原町市を合算

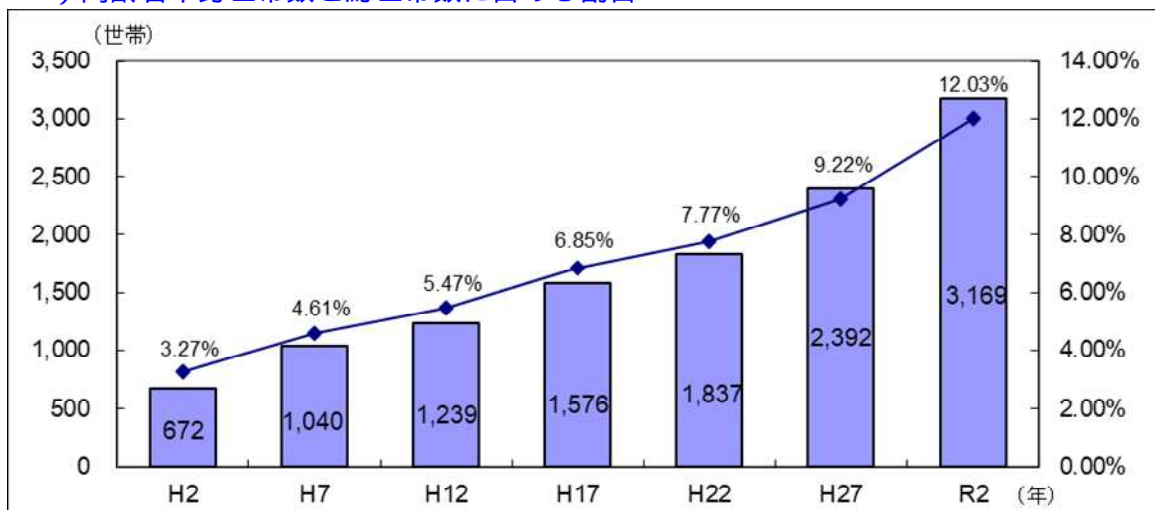
( 10 ) 主な流出・流入人口<sup>3</sup>



出典：総務省「国勢調査(令和2年)」

<sup>3</sup> 流出口：当該区域から他の区域へ通勤・通学する人口。 流入人口：他の区域から当該区域へ通勤・通学する人口。

( 1 1 ) 高齢者単身世帯数と総世帯数に占める割合



出典：総務省「国勢調査」を基に計算  
H17年以前は小高町・鹿島町・原町市を合算

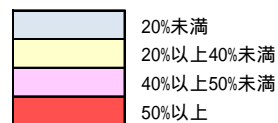
( 1 2 ) 行政区別高齢化率

区	行政区名称	人口	高齢者人口	高齢化率
小高区	一区	476	173	36.34%
	二区	250	94	37.60%
	三区	342	152	44.44%
	四区	194	101	52.06%
	五区	258	138	53.49%
	小高	304	141	46.38%
	片草	335	142	42.39%
	吉名	302	132	43.71%
	岡田	379	187	49.34%
	川原田	30	20	66.67%
	大井	367	180	49.05%
	塚原	147	85	57.82%
	飯崎	421	177	42.04%
	角間沢	62	39	62.90%
	小谷	122	64	52.46%
	摩辰	74	40	54.05%
	南鳩原	46	27	58.70%
	北鳩原	53	37	69.81%
	羽倉	106	41	38.68%
	大富	121	73	60.33%
	金谷	146	86	58.90%
	川房	164	89	54.27%
	大田和	77	32	41.56%
	小屋木	211	95	45.02%
	女場	78	45	57.69%
	角部内	32	12	37.50%
	上姥沢	46	33	71.74%
	下姥沢	43	23	53.49%
	浦尻	120	69	57.50%
	下浦	17	15	88.24%
	行津	32	18	56.25%
	上浦	74	47	63.51%
神山	71	35	49.30%	
上耳谷	101	53	52.48%	
下耳谷	78	48	61.54%	
泉沢	131	68	51.91%	
福岡	98	30	30.61%	
村上	24	12	50.00%	
井田川	40	19	47.50%	

区	行政区名称	人口	高齢者人口	高齢化率
鹿島区	新町	733	171	23.33%
	1区	557	171	30.70%
	2区	271	127	46.86%
	3区	203	81	39.90%
	4区	516	149	28.88%
	台田中	273	128	46.89%
	北右田	88	48	54.55%
	上寺内	816	246	30.15%
	寺内	771	262	33.98%
	大谷地	32	21	65.63%
	江垂	268	110	41.04%
	塩崎	143	68	47.55%
	川子	111	42	37.84%
	大内	166	82	49.40%
	鳥崎	67	30	44.78%
	小島田	136	74	54.41%
	三里	171	44	25.73%
	西川原団地	91	43	47.25%
	南屋形	244	102	41.80%
	北海老	340	147	43.24%
	南海老	34	17	50.00%
	北屋形	184	92	50.00%
	南柚木	217	100	46.08%
	永田	95	39	41.05%
	永渡	61	24	39.34%
	上榎窪	210	105	50.00%
	榎窪	143	71	49.65%
	御山	64	39	60.94%
	白坂	95	37	38.95%
	角川原	186	82	44.09%
	横手	287	115	40.07%
	山下	319	129	40.44%
車川	64	31	48.44%	
浮田	315	130	41.27%	
岡和田	120	50	41.67%	
牛河内	50	21	42.00%	
小山田	169	72	42.60%	
小池	566	230	40.64%	
權原	88	57	64.77%	
西町	265	111	41.89%	

区	行政区名称	人口	高齢者人口	高齢化率
原町区	国見町一	236	66	27.97%
	国見町二	514	160	31.13%
	国見町三	543	171	31.49%
	国見町団地一	409	203	49.63%
	国見町団地二	97	46	47.42%
	上町	960	301	31.35%
	西町	1,095	312	28.49%
	三島町一	527	148	28.08%
	三島町二	124	57	45.97%
	北町1	1,028	315	30.64%
	北町2	555	191	34.41%
	小川町1	796	280	35.18%
	小川町2	362	146	40.33%
	本町一	143	79	55.24%
	本町二	194	68	35.05%
	本町三	137	52	37.96%
	南町一	196	93	47.45%
	南町二	291	137	47.08%
	南町三	386	132	34.20%
	南町四	374	122	32.62%
	本陣前一	686	212	30.90%
	本陣前二	728	251	34.48%
	本陣前三	1,106	358	32.37%
	橋本町一	315	128	40.63%
	橋本町二	454	177	38.99%
	橋本町三	382	130	34.03%
	橋本町四	385	137	35.58%
	栄町一	117	44	37.61%
	栄町二	110	47	42.73%
	栄町三	281	118	41.99%
	大町一	114	61	53.51%
	大町二	446	234	52.47%
	大町三	219	112	51.14%
	東町一	342	134	39.18%
	東町二	158	62	39.24%
旭町一	227	91	40.09%	
旭町二	259	76	29.34%	
二見町一	339	126	37.17%	
二見町二	375	157	41.87%	
青葉町	513	219	42.69%	
錦町一	263	88	33.46%	
錦町二	316	85	26.90%	
桜井町一	487	184	37.78%	
桜井町二	454	205	45.15%	
高見町	988	349	35.32%	
日の出町	1,209	360	29.78%	
仲町一	356	163	45.79%	
仲町二	482	251	52.07%	
仲町三	305	129	42.30%	
上洪佐	1,185	358	30.21%	

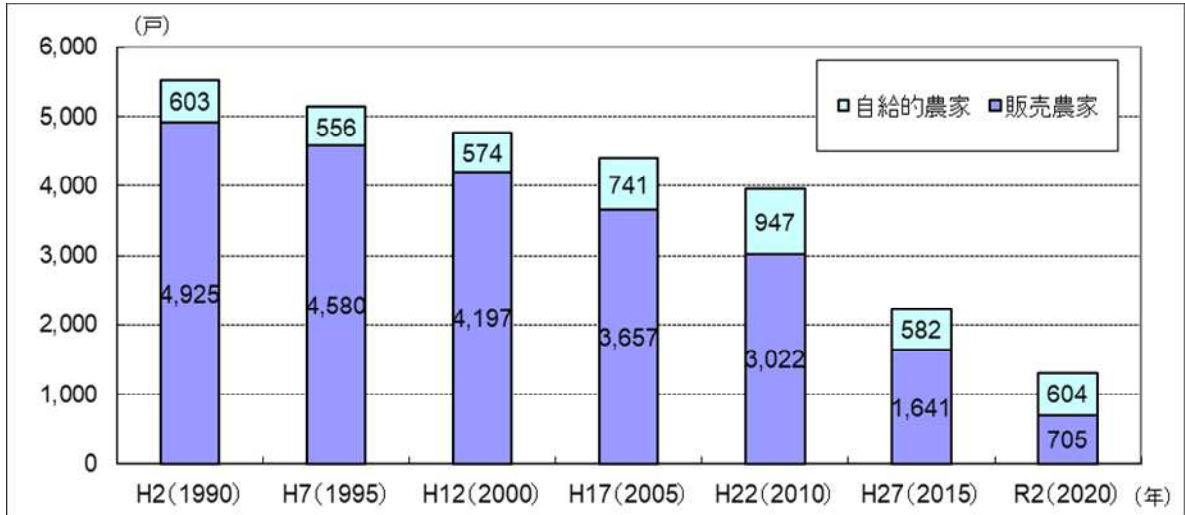
区	行政区名称	人口	高齢者人口	高齢化率
原町区	北萱浜	289	131	45.33%
	萱浜	197	73	37.06%
	北原	836	325	38.88%
	大壜上	163	70	42.94%
	大壜下	244	96	39.34%
	幸	542	194	35.79%
	小浜	50	26	52.00%
	江井	128	59	46.09%
	下江井	35	23	65.71%
	小沢	7	3	42.86%
	堤谷	61	27	44.26%
	小木迫	31	20	64.52%
	鶴谷	105	62	59.05%
	高一	153	77	50.33%
	高二	94	52	55.32%
	益田	151	59	39.07%
	下太田	308	109	35.39%
	牛采	418	170	40.67%
	中太田	420	134	31.90%
	陣ヶ崎一	822	181	22.02%
	陣ヶ崎二	308	109	35.39%
	上太田	201	87	43.28%
	矢川原	180	98	54.44%
	片倉	35	21	60.00%
	馬場	880	372	42.27%
	壱雀ヶ原1	411	157	38.20%
	壱雀ヶ原2東	374	137	36.63%
	壱雀ヶ原2西	693	165	23.81%
	壱雀ヶ原3	664	225	33.89%
	大木戸一	808	234	28.96%
	大木戸二	770	207	26.88%
	大木戸三	172	34	19.77%
	牛越	731	268	36.66%
	石神	424	147	34.67%
	押釜	317	115	36.28%
	高倉	182	79	43.41%
	大谷	62	33	53.23%
	大原	321	160	49.84%
	櫃田沢	287	140	48.78%
深野	416	186	44.71%	
長野	240	111	46.25%	
北長野	660	225	34.09%	
北新田	238	99	41.60%	
上北高平一	340	125	36.76%	
上北高平二	189	85	44.97%	
上北高平三	427	199	46.60%	
上高平一	256	112	43.75%	
上高平二	329	128	38.91%	
下高平	151	52	34.44%	
下北高平	176	78	44.32%	
泉	256	105	41.02%	
北泉	85	38	44.71%	
金沢	286	101	35.31%	



出典：南相馬市住民基本台帳を基に計算（令和7年9月30日現在）

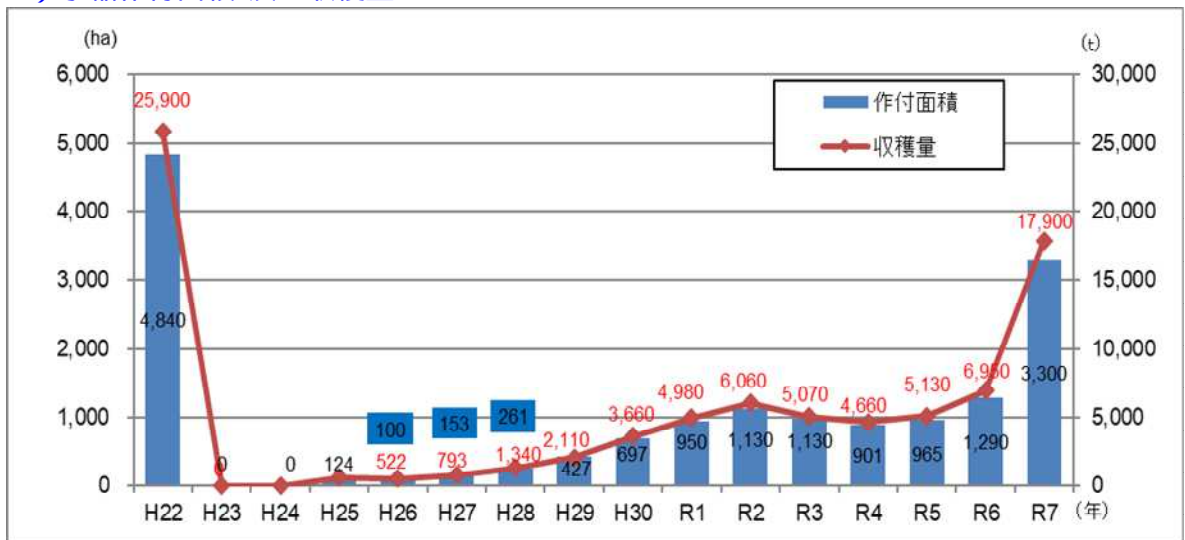
# 4 農林水産業

## (1) 農家数



出典：農林水産省「農林業センサス」  
H17年以前は小高町・鹿島町・原町市を合算

## (2) 水稻作付面積<sup>4</sup>及び収穫量

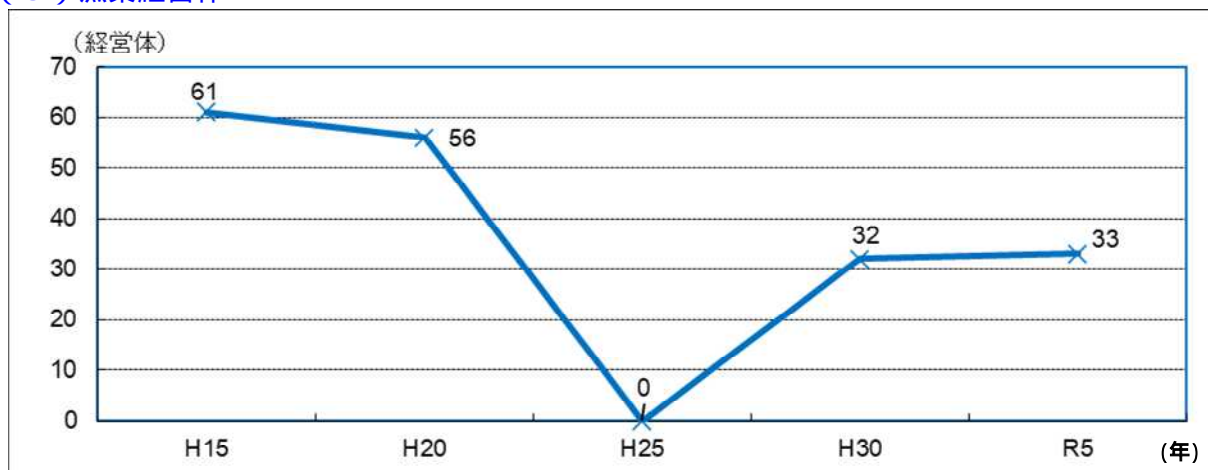


出典：農林水産省「作物統計<sup>5</sup>」

<sup>4</sup> 水稻作付面積：水稻、麦など、は種又は植え付けしてからおおむね1年以内に収穫され、複数年にわたる収穫ができない非永年性作物を作付けしている面積をいう。（青刈り面積（飼料用米等を含む）を除く）けい畔に作物を栽培している場合は、その利用部分を見積り作付面積として計上している。

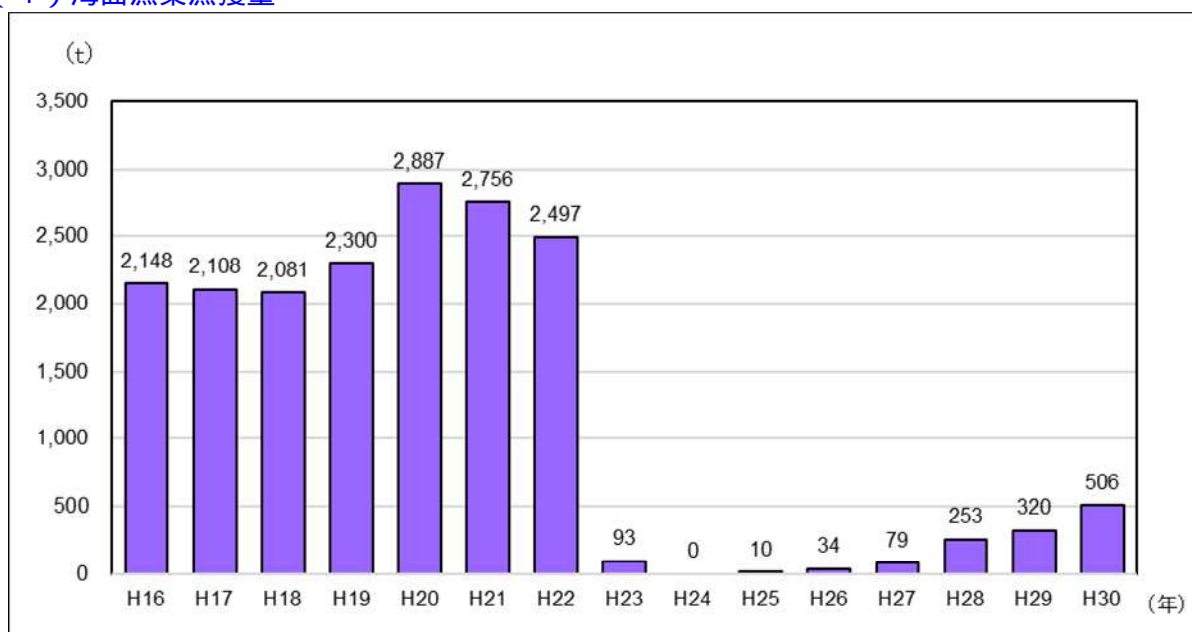
<sup>5</sup> 作物統計：市町村別データは、「作物統計調査」を実施する上で把握した地域における標本調査及び現地見積りの結果、関係機関からの情報等を踏まえ都道府県計値の内訳として市町村別に作成した加工統計であり、作成するうえで精度を設定しているものではない。

### ( 3 ) 漁業経営体<sup>6</sup>



出典：農林水産省「漁業センサス」  
H15年は小高町・鹿島町・原町市を合算

### ( 4 ) 海面漁業漁獲量

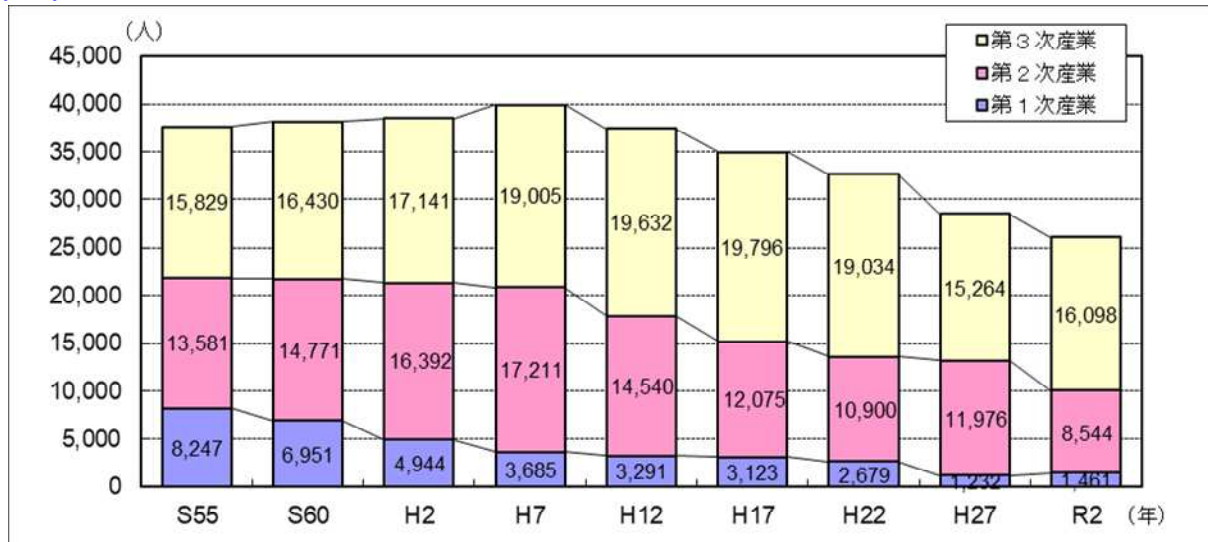


出典：農林水産省「海面漁業生産統計調査」  
H17年以前は小高町・鹿島町・原町市を合算  
R元年以降は市町村別データ廃止

<sup>6</sup> 漁業経営体：調査期日1年間に利潤または生活の資を得るために生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕または養殖の事業を行った世帯または事業所。ただし、過去1年間における漁業の海上作業従事日数が30日未満の個人経営体は除く。

## 5 労働・商工業

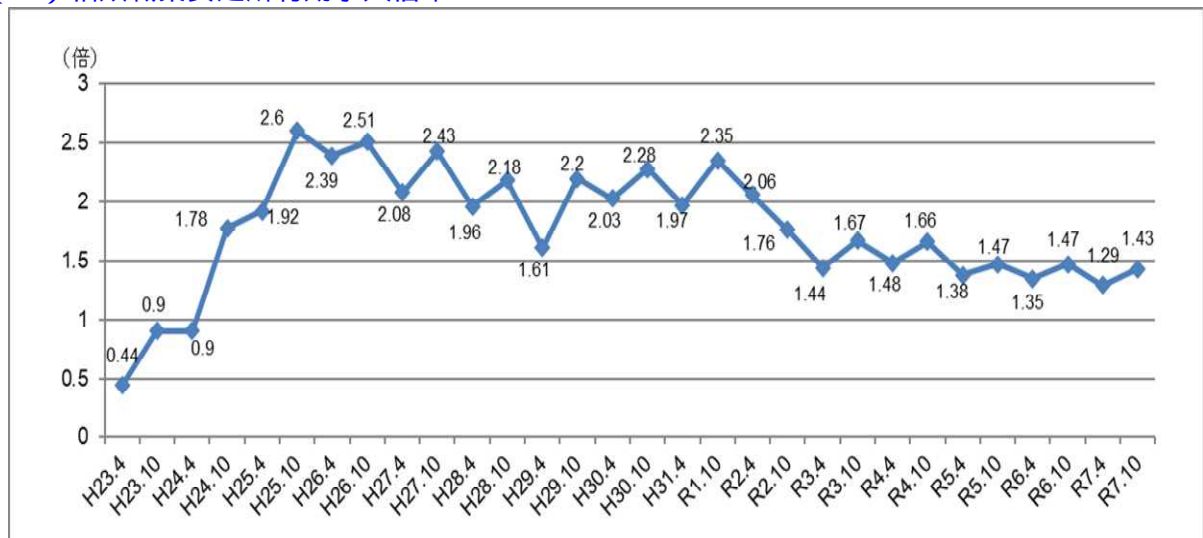
### (1) 産業別就業者数



出典：総務省「国勢調査」

H17年以前は小高町・鹿島町・原町市を合算

### (2) 相双職業安定所有効求人倍率



出典：福島労働局職業安定部「公共職業安定所業務取扱月報」より作成

### (3) 民営事業所数・従業者数

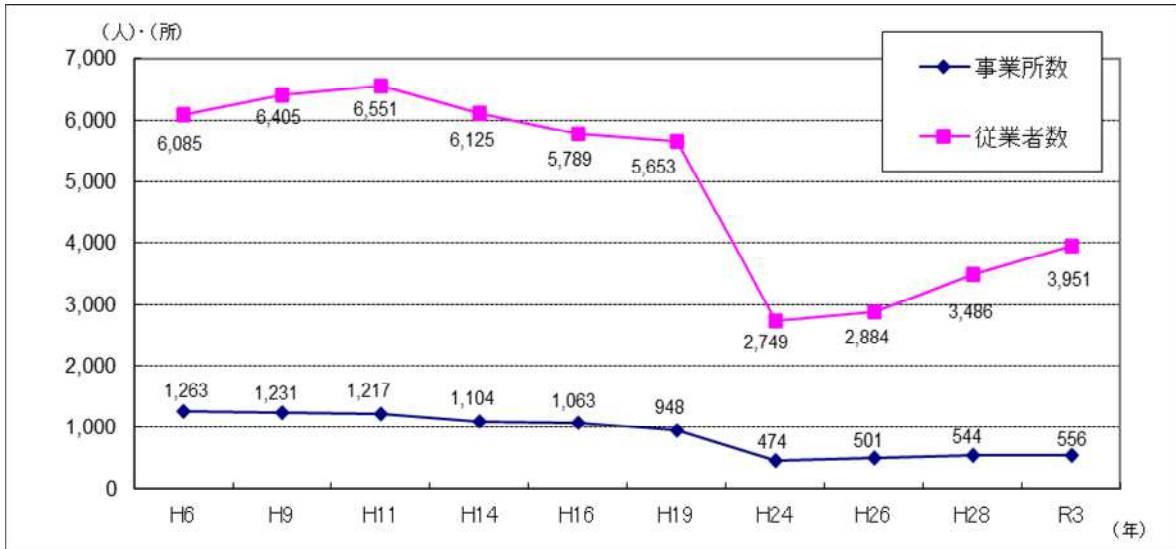
		事業所数					従業者数				
		H21	H24	H26	H28	R3	H21	H24	H26	H28	R3
A	農業，林業	31	12	16	18	40	456	144	137	288	432
B	漁業	4	2	2	1	-	32	13	3	2	-
C	鉱業，採石業，砂利採取業	3	1	3	2	3	15	***	19	16	16
D	建設業	399	278	324	346	333	3,281	2,650	3,174	3,759	3,666
E	製造業	360	222	263	249	231	6,119	3,993	4,346	4,285	4,058
F	電気・ガス・熱供給・水道業	5	5	7	7	15	242	288	296	298	254
G	情報通信業	20	15	18	16	18	60	46	47	34	36
H	運輸業，郵便業	68	39	46	52	63	1,339	643	848	949	1,382
I	卸売業，小売業	947	576	644	651	626	6,047	3,486	3,855	4,140	4,440
J	金融業，保険業	71	61	51	50	53	785	537	485	507	467
K	不動産業，物品賃貸業	198	154	170	165	165	451	381	449	554	535
L	学術研究，専門・技術サービス業	116	90	104	109	108	748	498	525	709	647
M	宿泊業，飲食サービス業	377	219	261	270	242	1,880	1,059	1,431	1,479	1,369
N	生活関連サービス業，娯楽業	363	242	250	250	236	1,294	875	780	848	809
O	教育，学習支援業	101	45	56	50	54	372	188	225	212	221
P	医療，福祉	198	152	182	187	193	2,743	1,946	2,476	2,252	2,546
Q	複合サービス事業	27	19	21	21	22	392	309	427	357	294
R	サービス業(他に分類されないもの)	237	165	192	187	190	1,701	1,939	2,012	1,976	1,570
	総数	3,594	2,467	2,657	2,689	2,745	27,957	18,995	21,525	22,665	22,742

出典：経済産業省・総務省「経済センサス」

分類不能があるため、分類の和と総計が一致しない

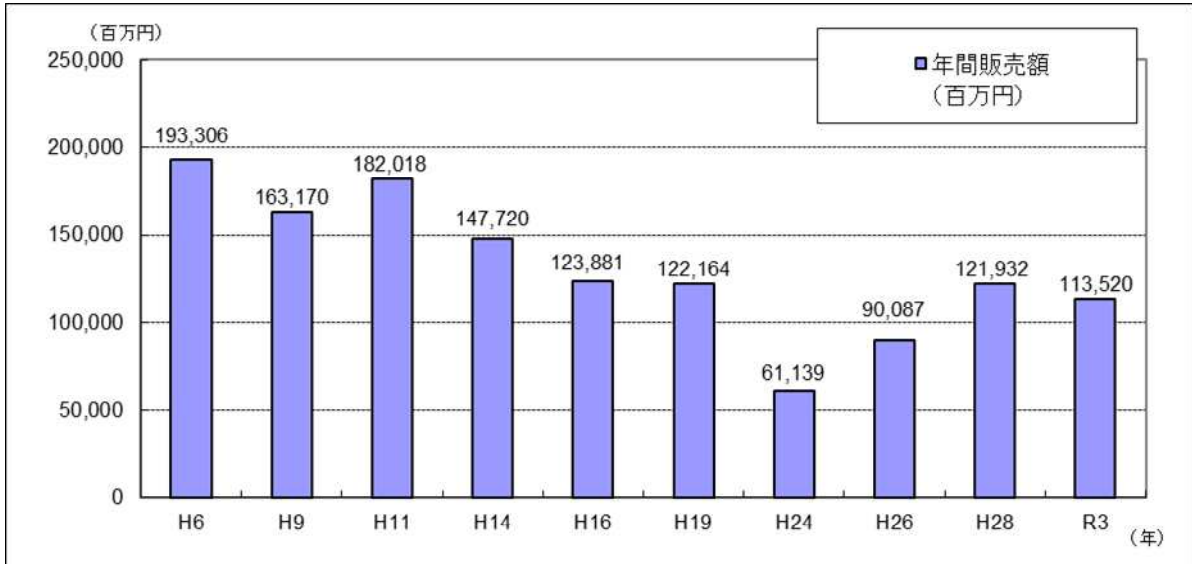
H24年は、震災による「警戒区域」及び「計画的避難区域」となった調査区に所在する事業所及び企業については除外

(4) 商業（卸売業・小売業）の事業所数・従業者数



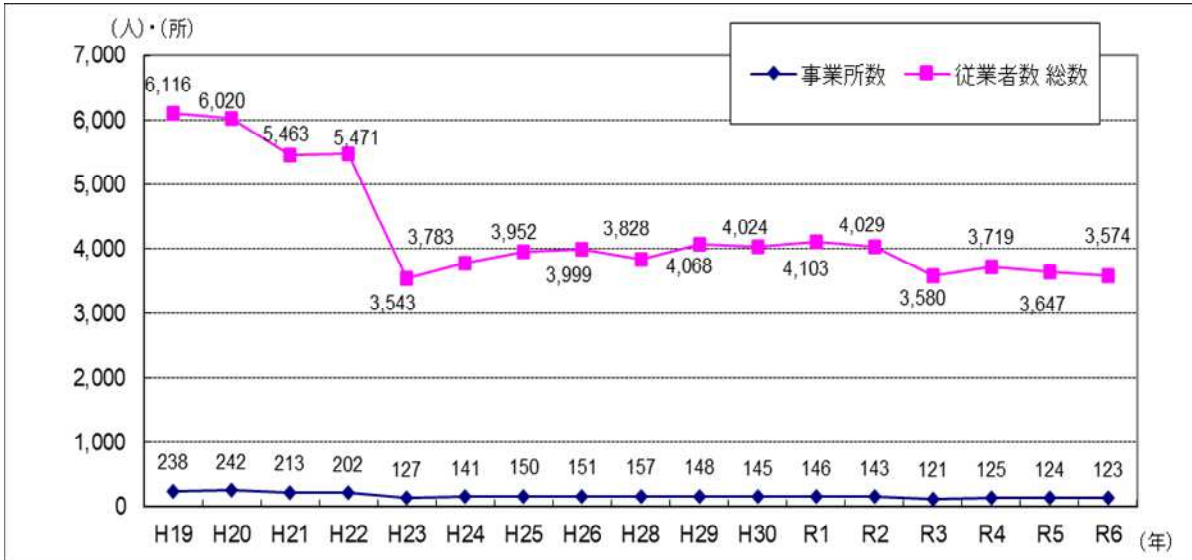
出典：経済産業省「商業統計調査」（H24年・H28年・R3年は経済センサス）  
H16年以前は小高町・鹿島町・原町市を合算

(5) 商業（卸売業・小売業）の年間販売額



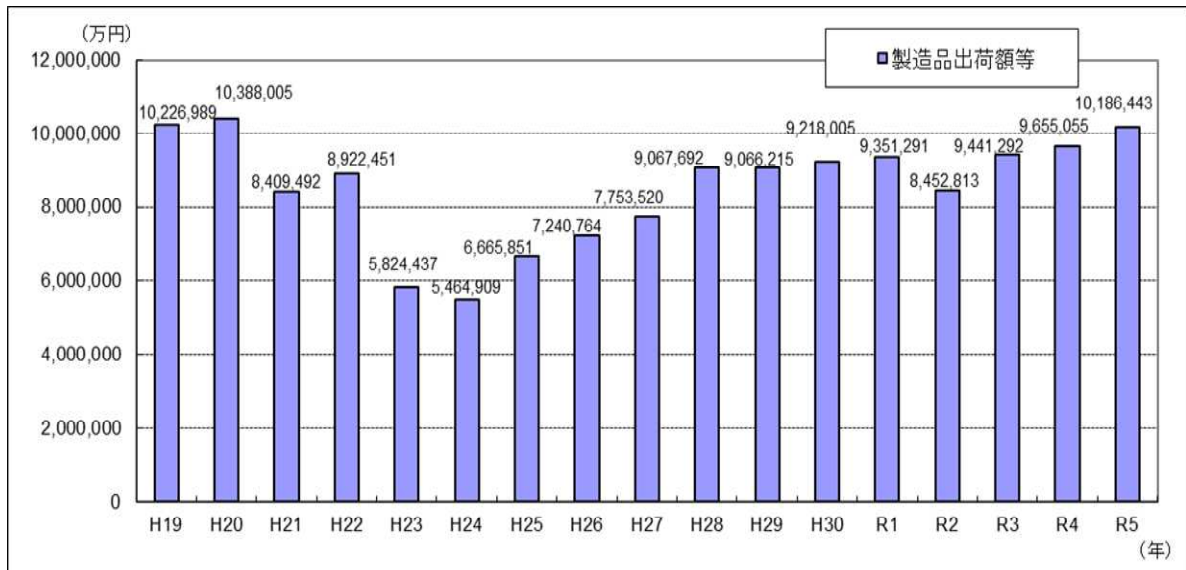
出典：経済産業省「商業統計調査」（H24年・H28年・R3年は経済センサス）  
H16年以前は小高町・鹿島町・原町市を合算

(6) 工業（製造業、従業者4人以上の事業所）の事業所数・従業者数



出典：福島県統計課編「福島県の工業」より作成（H27年はデータなし）

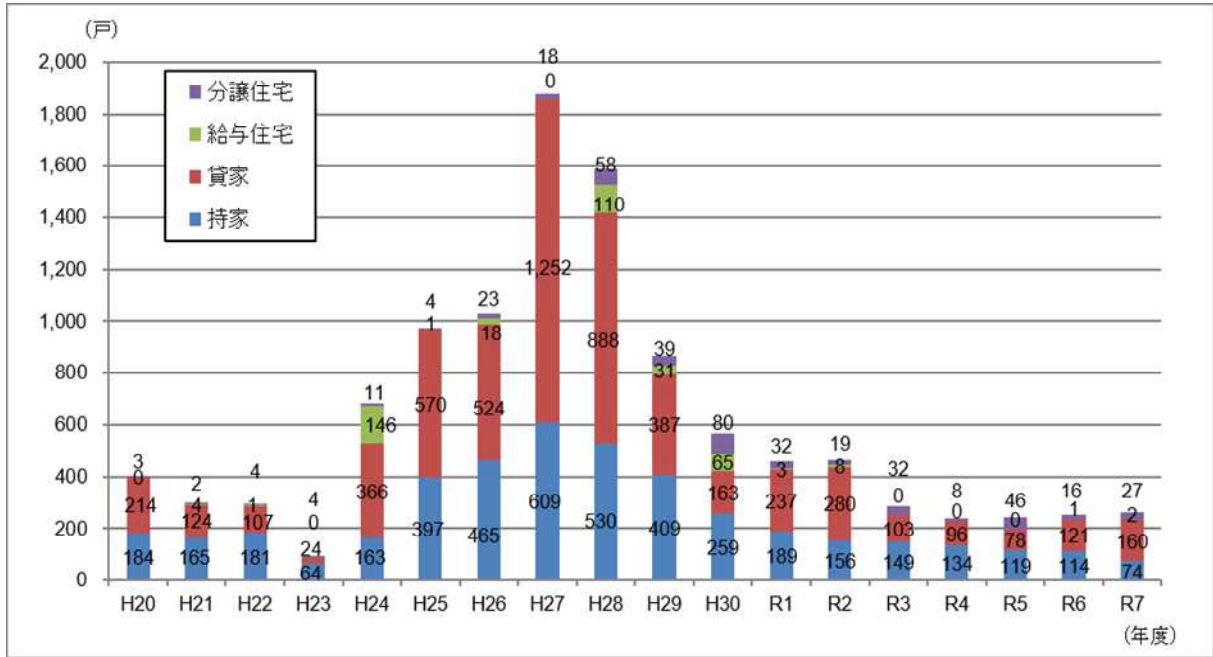
(7) 工業（製造業、従業者4人以上の事業所）の製造品出荷額



出典：福島県統計課編「福島県の工業」より作成

## 6 住宅

### (1) 利用関係別新設住宅

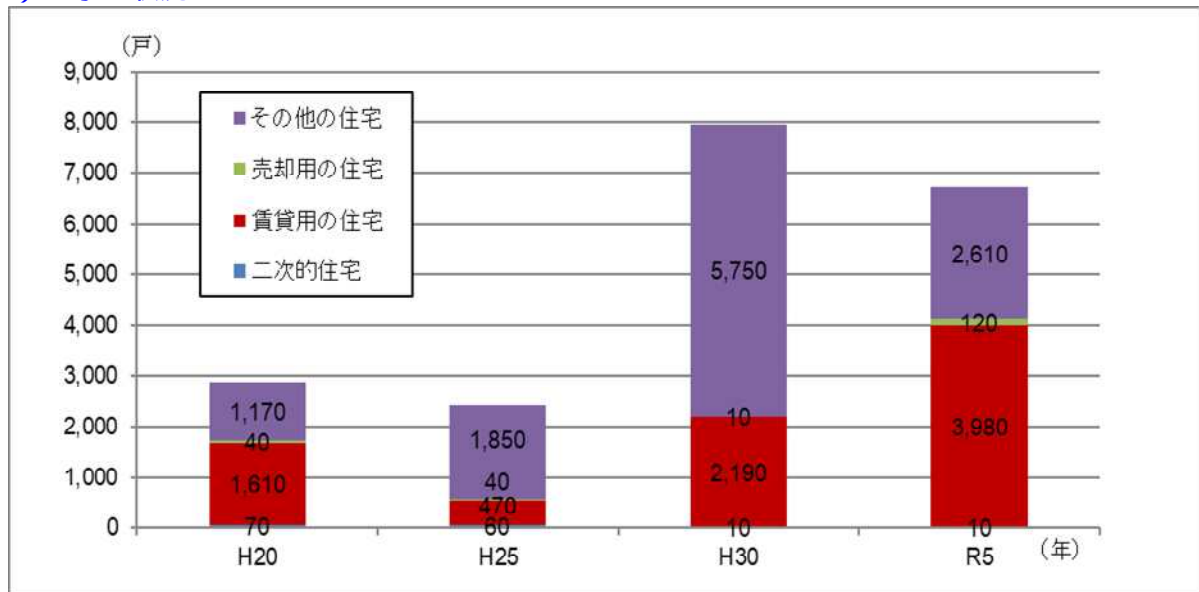


出典：国土交通省「建築着工統計調査」

#### (用語)

- 持家：建築主が自分で居住する目的で建築するもの
- 貸家：建築主が賃貸する目的で建築するもの
- 給与住宅：会社、官公署、学校等がその社員、職員、教員等を居住させる目的で建築するもの
- 分譲住宅：建て売り又は分譲の目的で建築するもの

### (2) 空家の状況



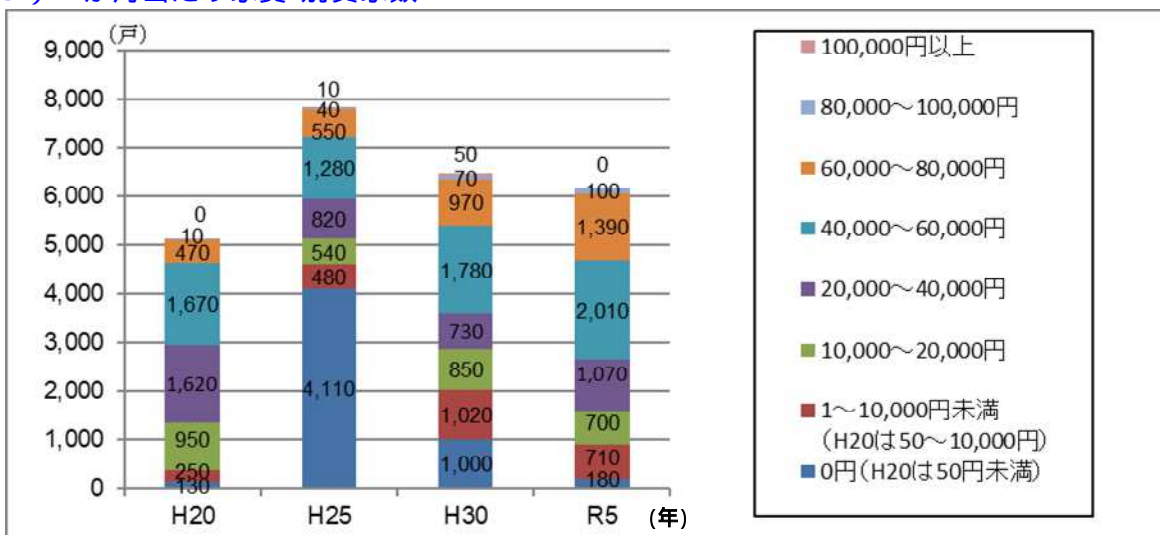
出典：総務省「住宅・土地統計調査」<sup>7</sup>

#### (用語)

- 二次的住宅：別荘、その他  
(ふだん住んでいる住宅とは別に、残業で遅くなった時に寝泊まりする住宅など)
- 賃貸用の住宅：新築・中古を問わず、賃貸のために空家になっている住宅
- 売却用の住宅：新築・中古を問わず、売却のために空家になっている住宅
- その他の住宅：上記以外の人が住んでいない住宅  
例：転勤・入院などの理由のため、居住世帯が長期にわたって不在の住宅や建て替えなどために取り壊すことになっている住宅など(注：空家の区分の判断が困難な住宅を含む)

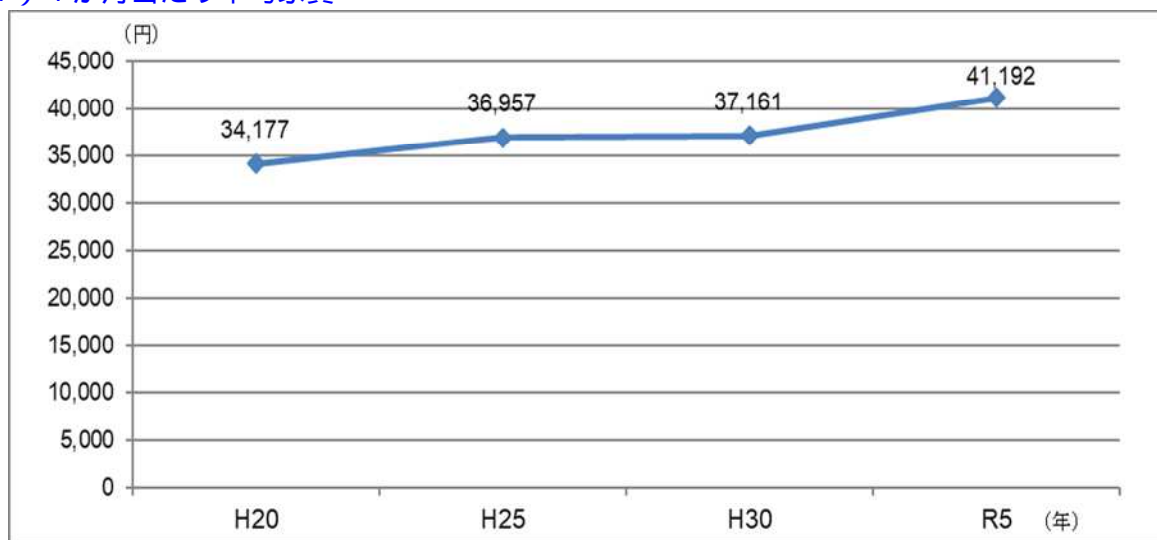
<sup>7</sup> 住宅・土地統計調査：南相馬市の場合、概ね1/3の調査区を抽出して推計する調査。H25は避難指示区域の抽出に含まれない。

(3) 1か月当たり家賃<sup>8</sup>別貸家数



出典：総務省「住宅・土地統計調査」

(4) 1か月当たり平均家賃



出典：総務省「住宅・土地統計調査」

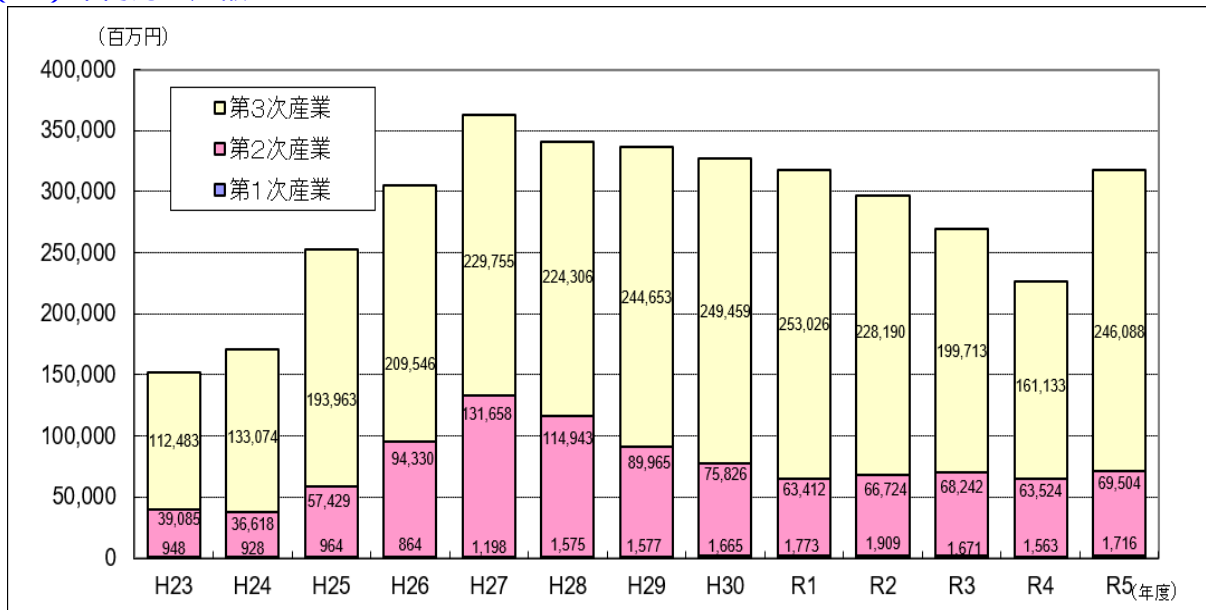
家賃0円を含まない

H20年は家賃50円未満を含まない

<sup>8</sup> 家賃：持ち家以外に居住する普通世帯が、最近、支払った1か月分の家賃

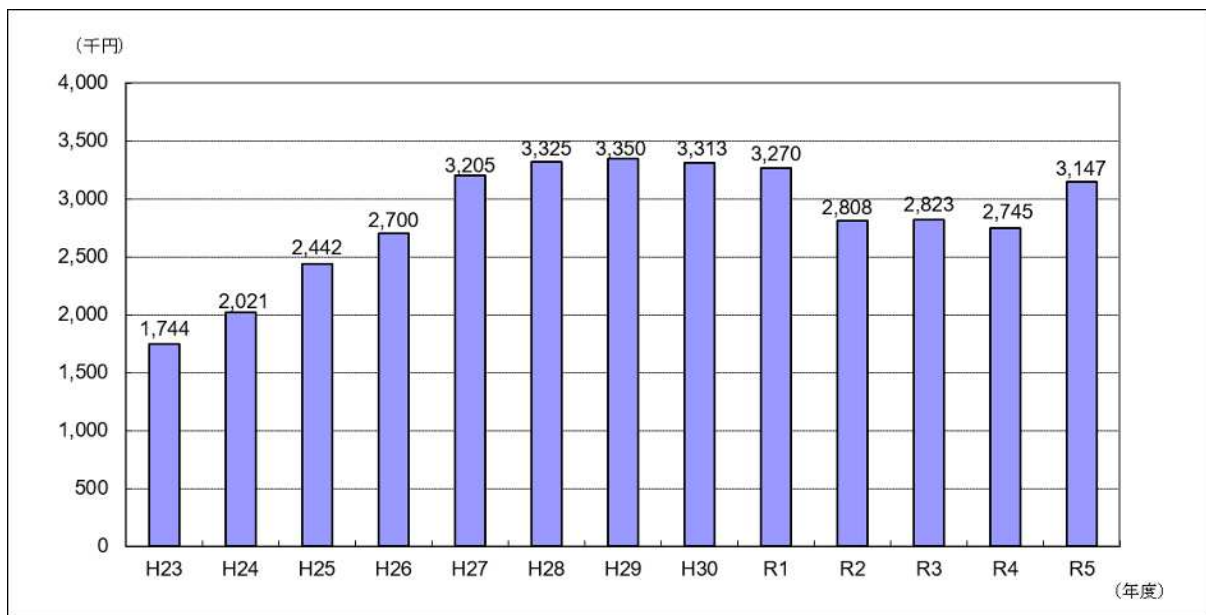
## 7 所得・物価

### (1) 市内総生産額



出典：福島県統計課「令和5(2023)年度福島県市町村民経済計算年報」から作成  
 経済活動別内訳には輸入品に課される税・関税等が含まれないため、第1次産業～  
 第3次産業の計は市町村内総生産と一致しない

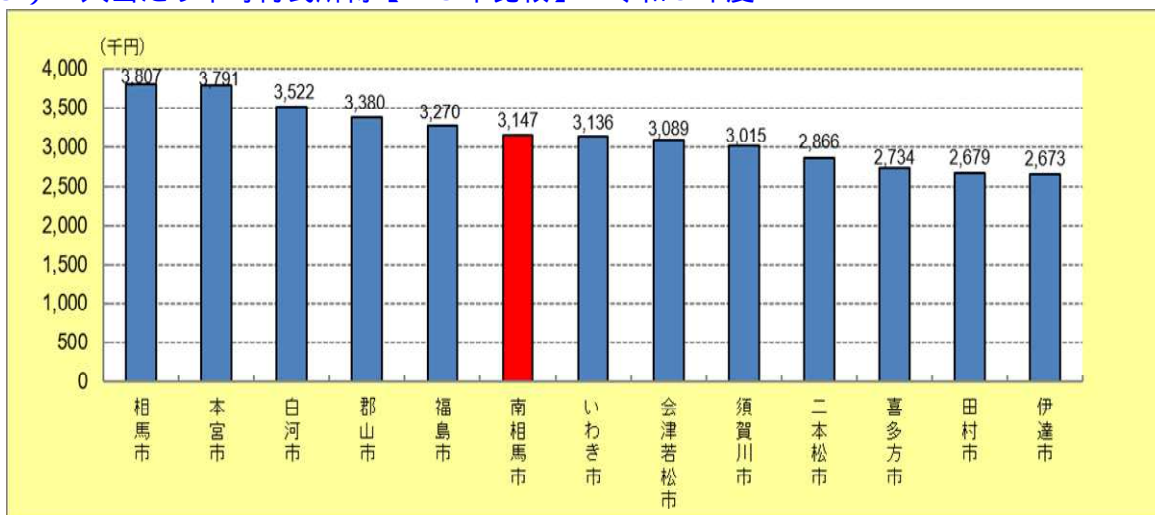
### (2) 1人当たり市町村民所得<sup>9</sup>



出典：福島県統計課「令和5(2023)年度福島県市町村民経済計算年報」から作成

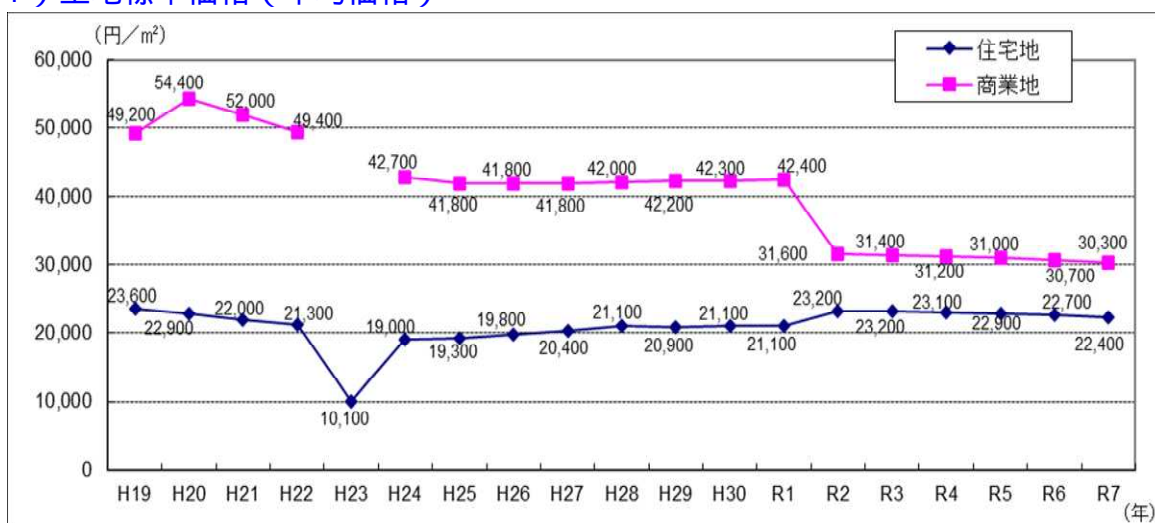
<sup>9</sup> 1人当たり市町村民所得：市町村民所得は、生産活動で生み出された付加価値を、生産活動に参加した経済主体に分配したもので、市町村民雇用者報酬、財産所得、企業所得からなる。1人当たり市町村民所得は、市町村民所得をその年の10月1日現在の総人口で割ったもの。市町村民所得の「所得」は、一般的に使われる意味での「所得」とはやや異なる。1人当たり市町村民所得は、企業の利益なども含めた市町村民経済全体の所得水準を表しており、個人の給与や実収入の平均値ではない。

(3) 1人当たり市町村民所得【13市比較】 / 令和5年度



出典：福島県統計課「令和5（2023）年度福島県市町村民経済計算年報」から作成

(4) 土地標準価格（平均価格）<sup>10</sup>



出典：一般財団法人 土地情報センター「地価公示」

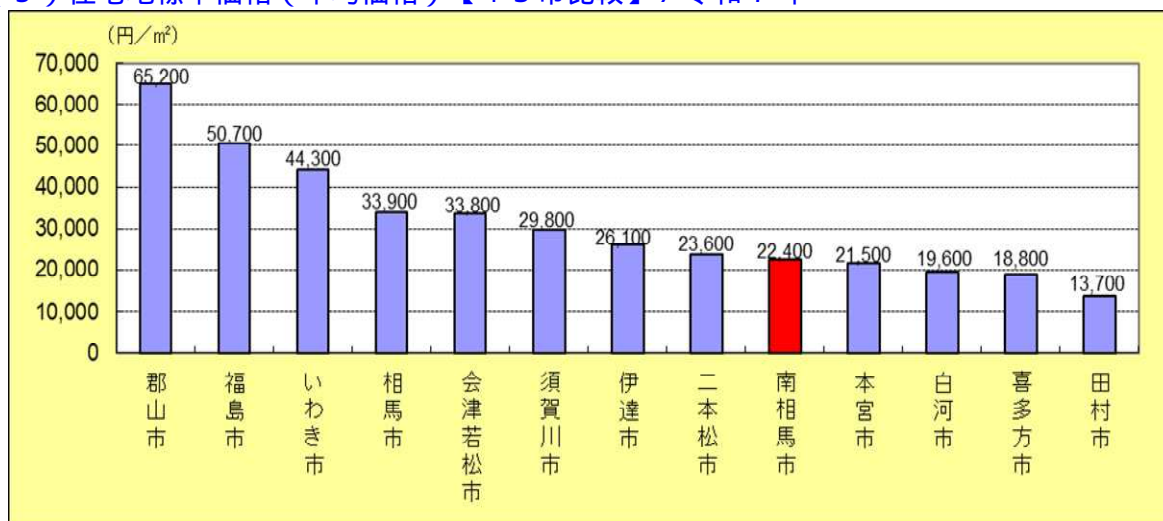
H23年は、原子力発電所事故による警戒区域、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域を対象から除外

(H23年商業地は平均価格なし)

H24年は、原子力発電所事故による警戒区域、計画的避難区域、避難指示解除準備区域及び居住制限区域を対象から除外

H25年～H29年は、原子力発電所事故による帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域を対象から除外

(5) 住宅地標準価格（平均価格）【13市比較】 / 令和7年

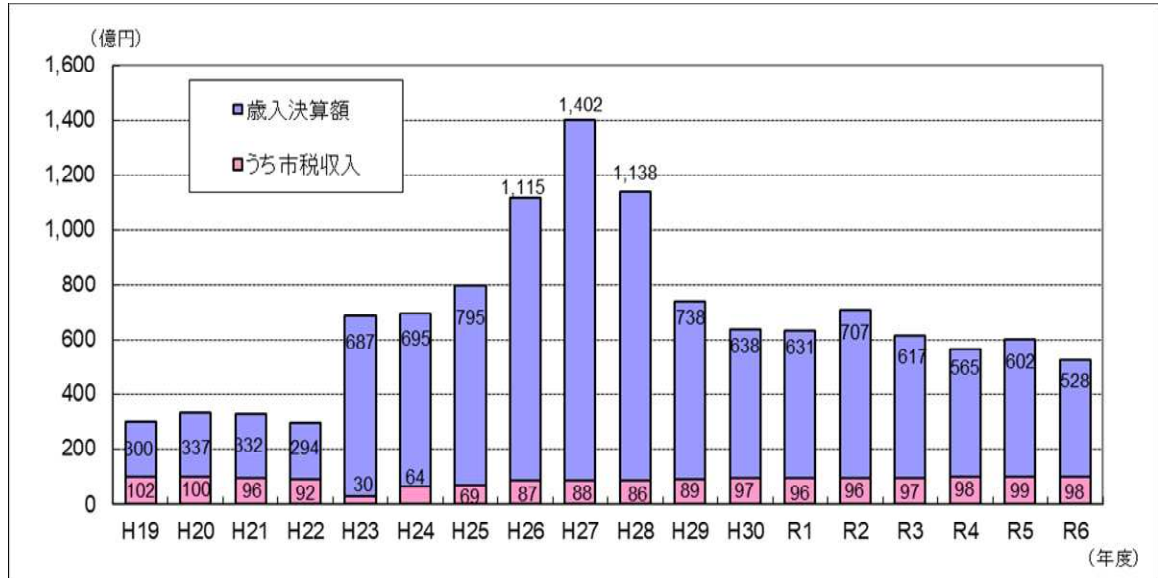


出典：一般財団法人 土地情報センター「地価公示」

<sup>10</sup>標準価格（平均価格）：用途別の基準地の平均価格であり、基準地ごとの1㎡当たりの価格の合計を当該基準地点で除して求めたもの。

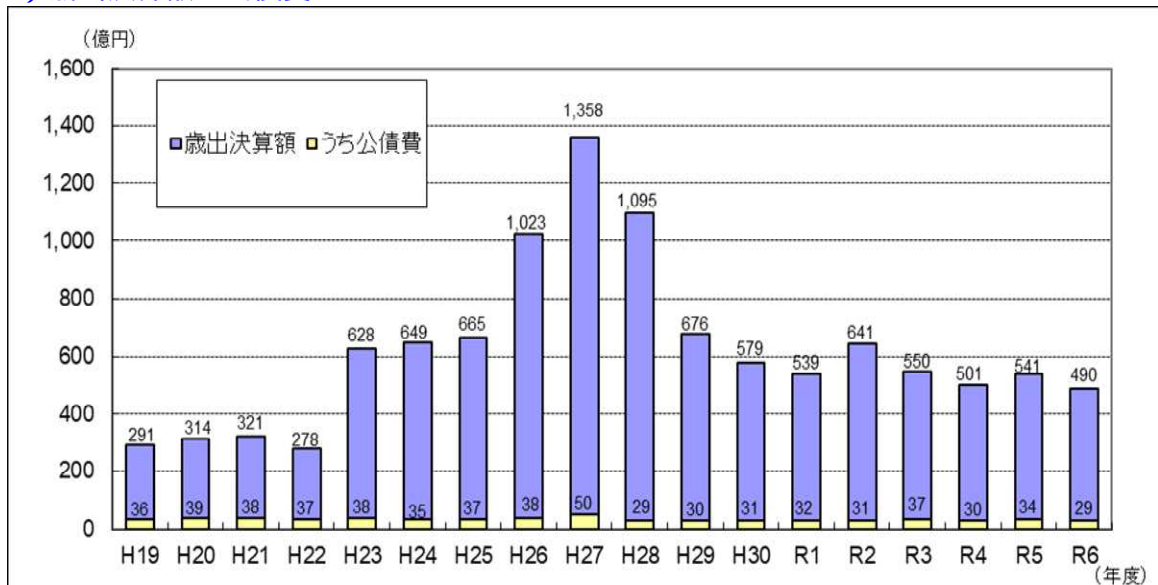
## 8 行財政

### (1) 歳入決算額と市税収入



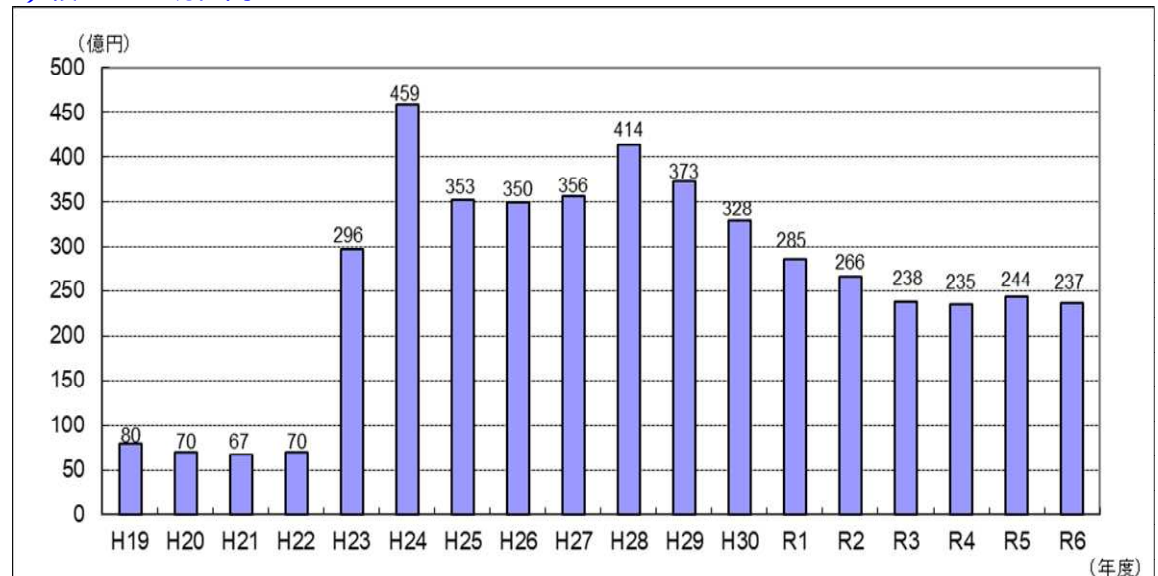
出典：南相馬市一般会計決算書

### (2) 歳出決算額と公債費



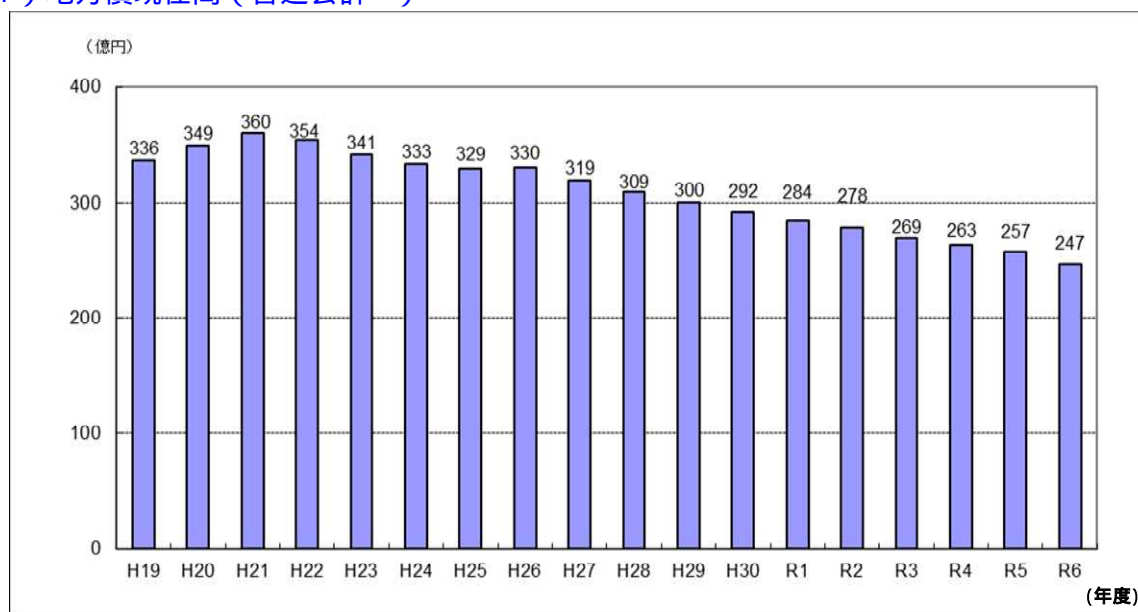
出典：南相馬市一般会計決算書

### (3) 積立基金現在高



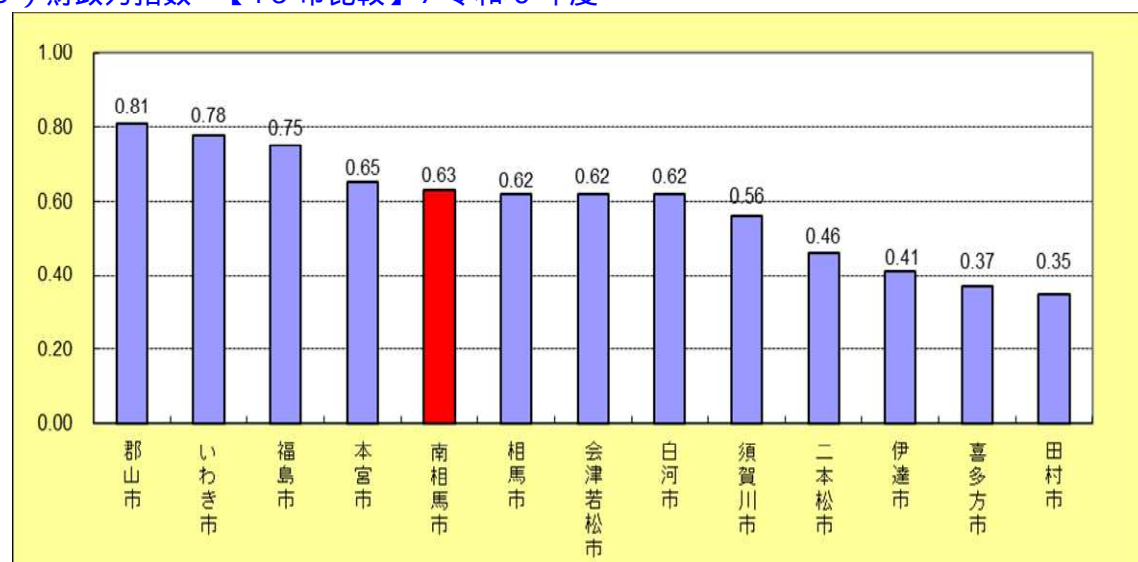
出典：南相馬市決算書

( 4 ) 地方債現在高 ( 普通会計<sup>11</sup> )



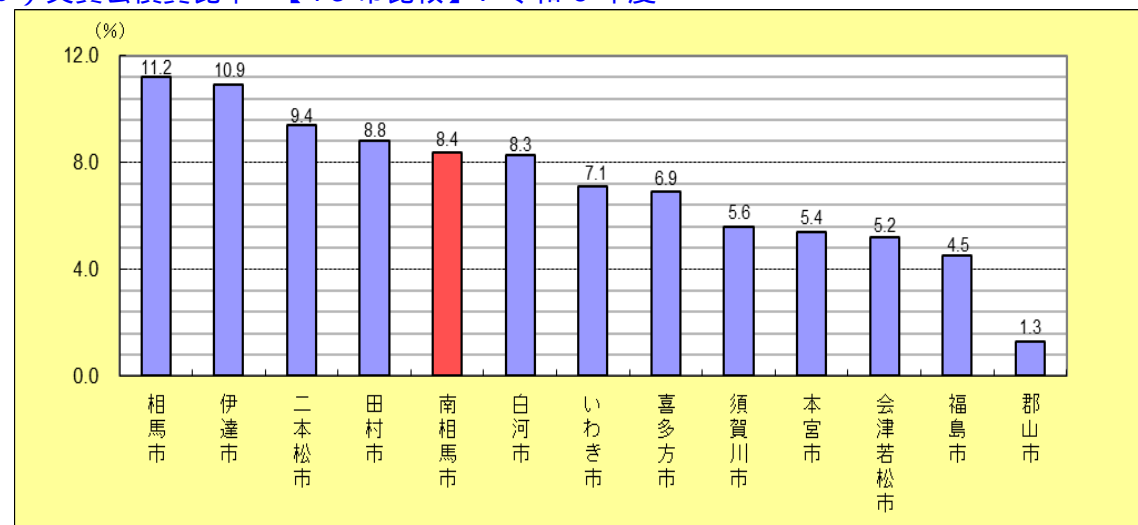
出典：南相馬市決算書

( 5 ) 財政力指数<sup>12</sup>【13市比較】 / 令和6年度



出典：福島県市町村財政課「市町村普通会計決算の概要」

( 6 ) 実質公債費比率<sup>13</sup>【13市比較】 / 令和6年度



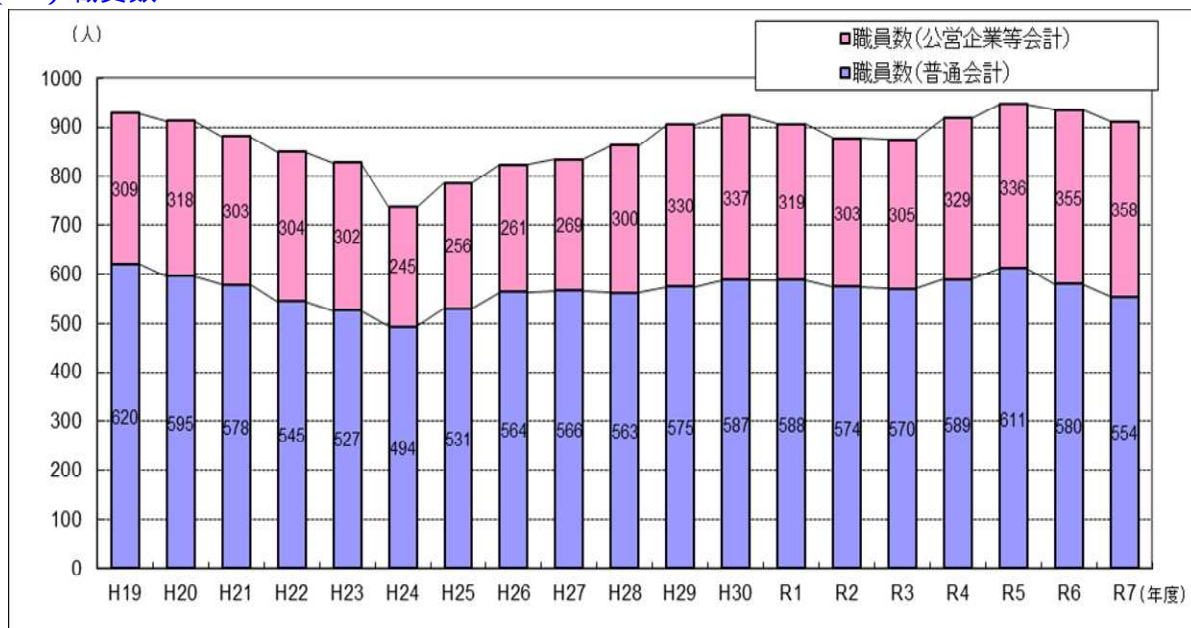
出典：福島県市町村財政課「市町村普通会計決算の概要」

<sup>11</sup> 普通会計：地方公共団体における公営事業会計以外の会計を統合して一つの会計にまとめたもの

<sup>12</sup> 財政力指数：地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値

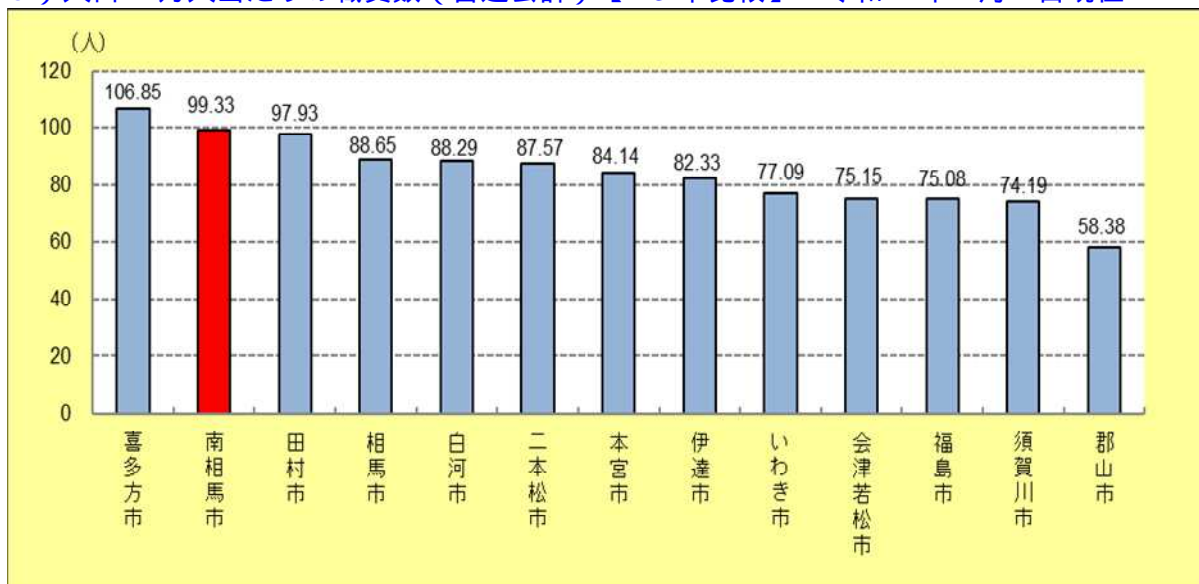
<sup>13</sup> 実質公債費比率：公債費がどの程度財政を圧迫しているかを示すもので、公債費に充当された一般財源の、一般財源総額に占める割合

(7) 職員数



出典：総務省「地方公共団体定員管理調査」  
再任用職員・任期付職員を含む

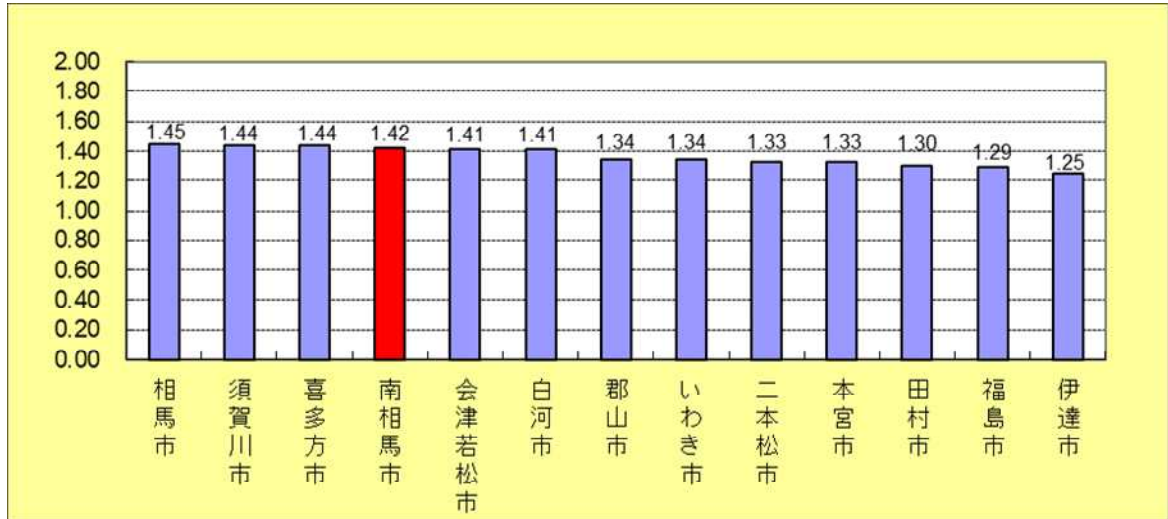
(8) 人口1万人当たりの職員数(普通会計)【13市比較】/令和7年4月1日現在



出典：総務省自治行政局「類似団体別職員数の状況」

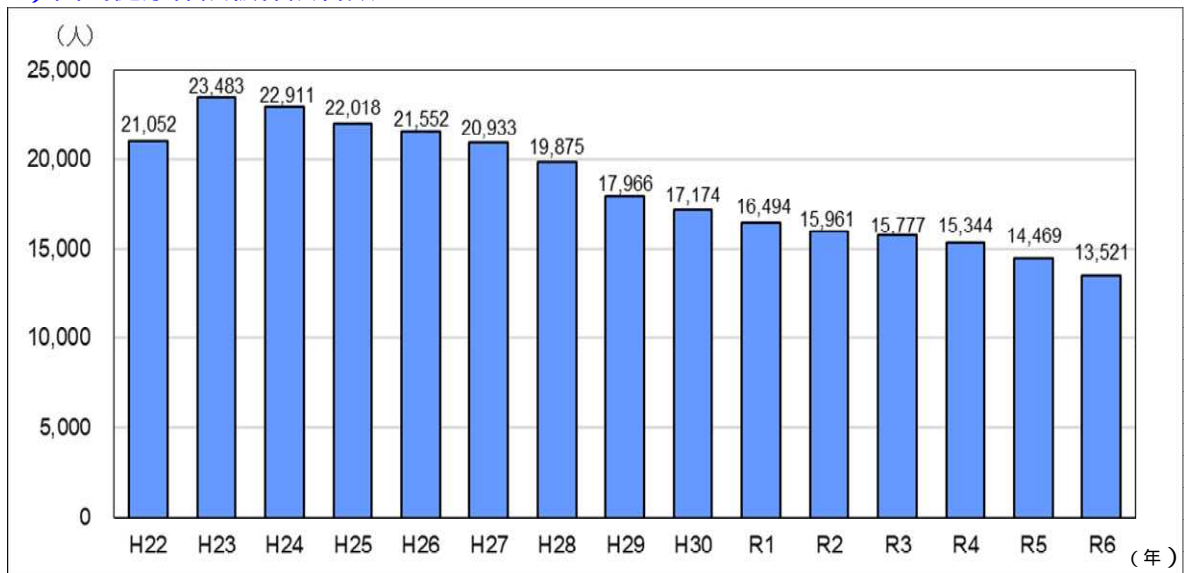
## 9 福祉・健康

### (1) 合計特殊出生率【13市比較】/平成30～令和4年



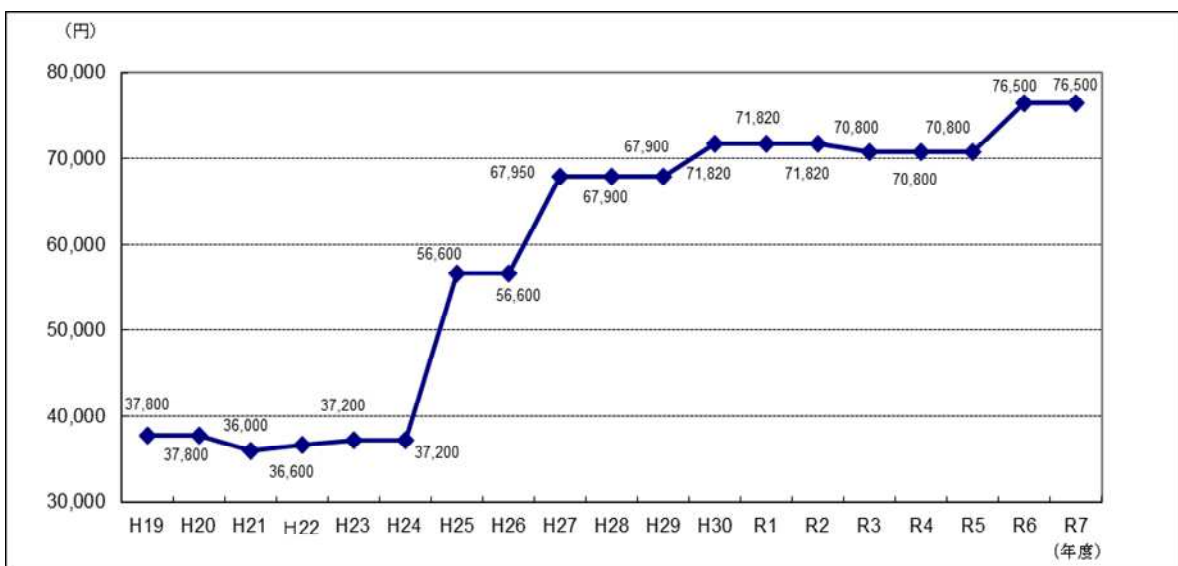
出典：厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」

### (2) 国民健康保険被保険者数



出典：厚生労働省「国民健康保険実態調査」

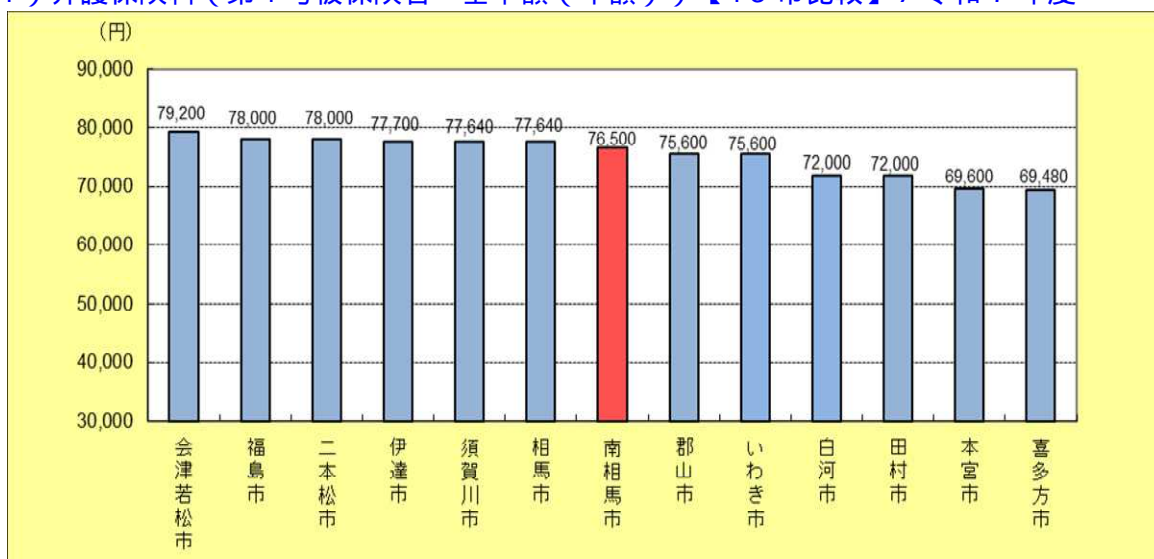
### (3) 介護保険料（第1号被保険者・基準額（年額））



出典：福島県企画調整部統計課編「福島県統計年鑑」より作成

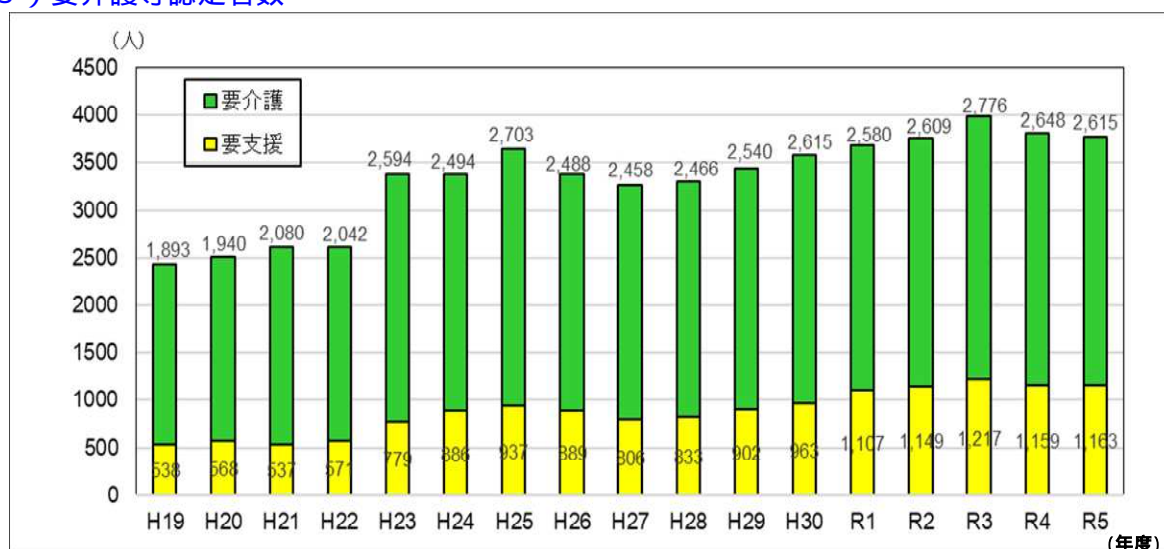
H24年度は、震災の影響により前期計画保険料に暫定的に据え置いている

(4) 介護保険料(第1号被保険者・基準額(年額))【13市比較】/令和7年度



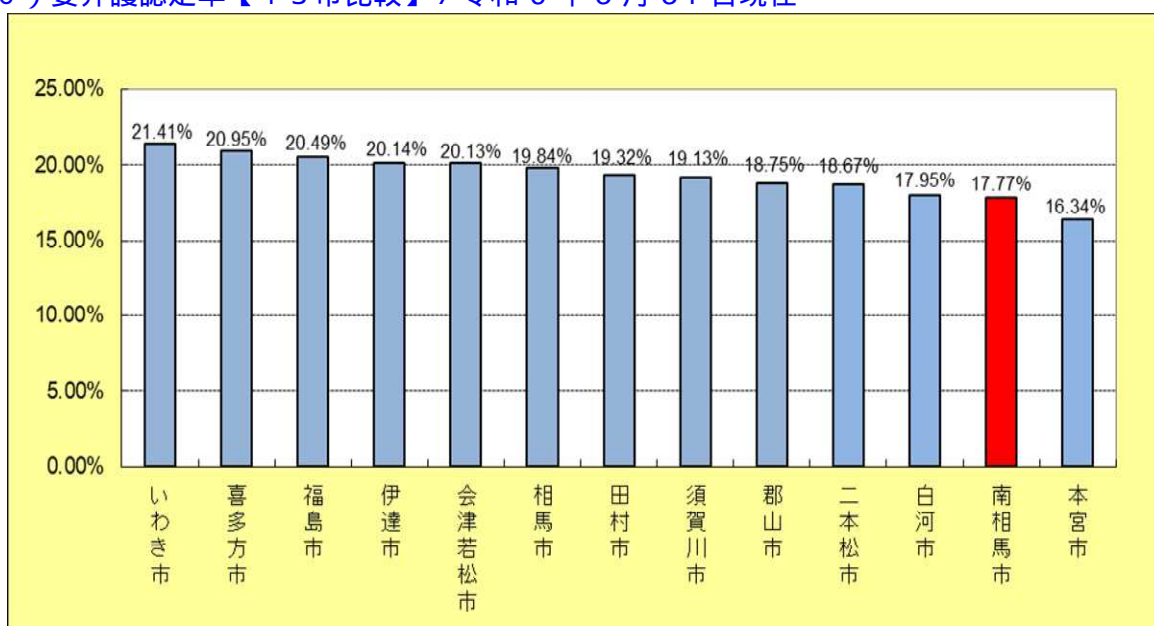
出典：福島県企画調整部統計課編「福島県統計年鑑」より作成

(5) 要介護等認定者数



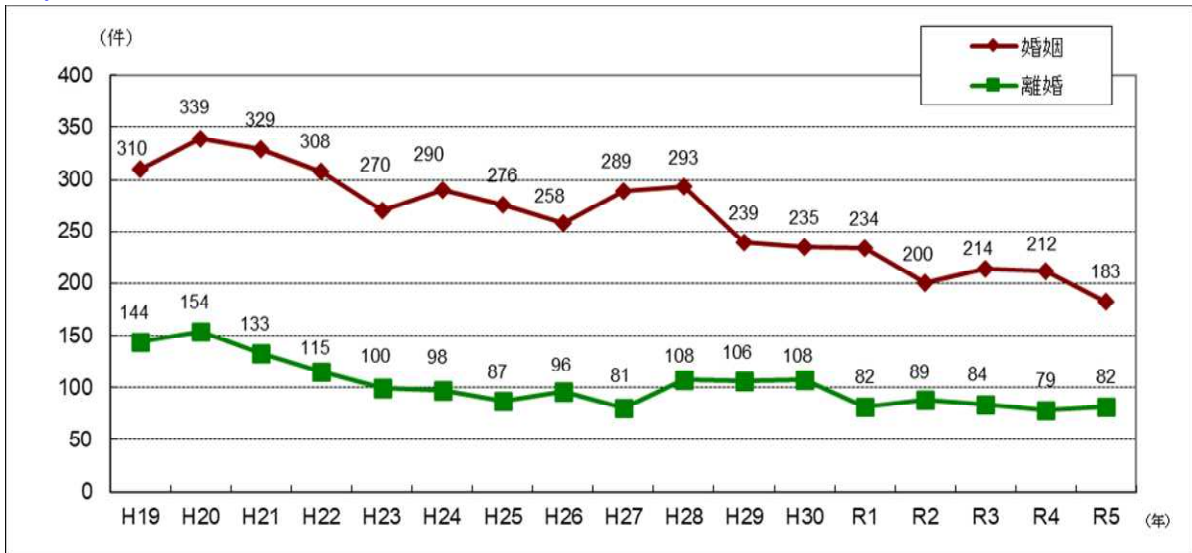
出典：厚生労働省「介護保険事業状況報告」

(6) 要介護認定率【13市比較】/令和6年3月31日現在



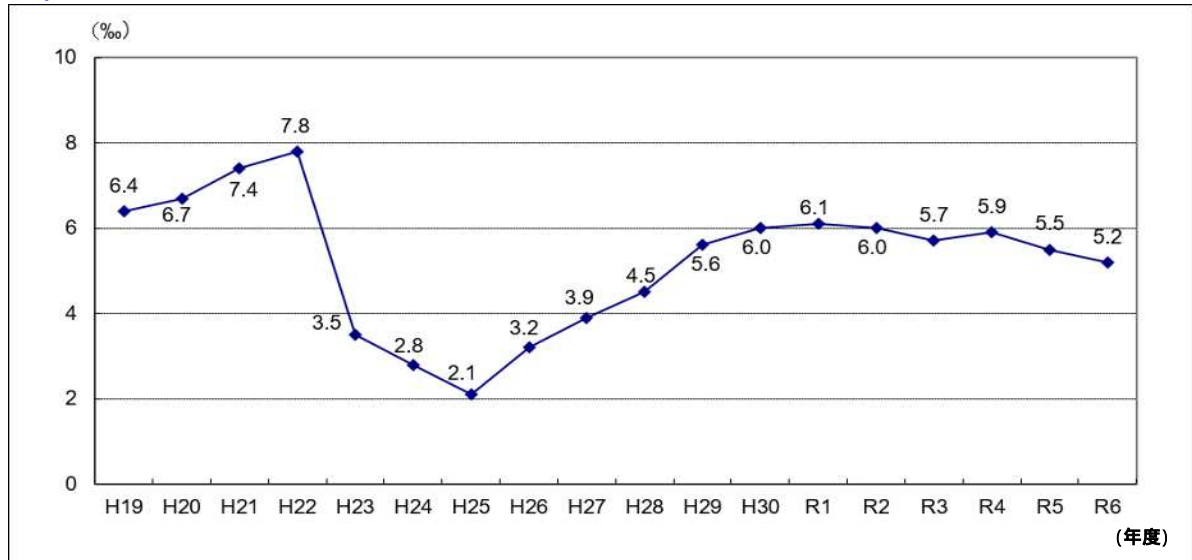
出典：厚生労働省「介護保険事業状況報告」

( 7 ) 婚姻・離婚件数



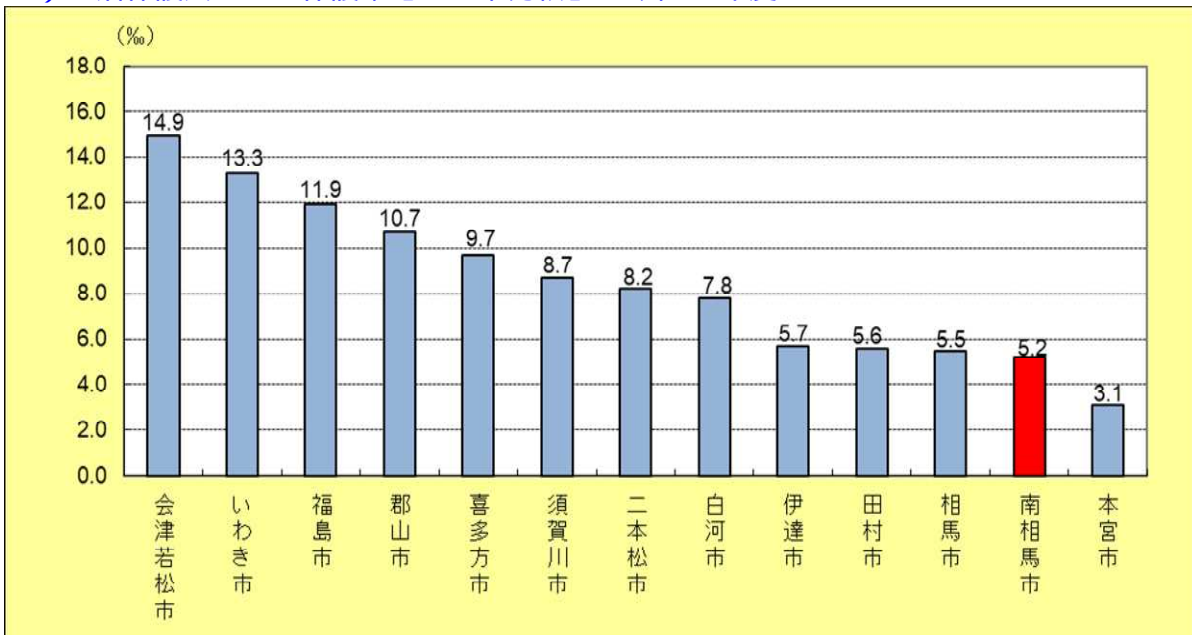
出典：福島県企画調整部統計課編「福島県統計年鑑」より作成

( 8 ) 生活保護法による保護率



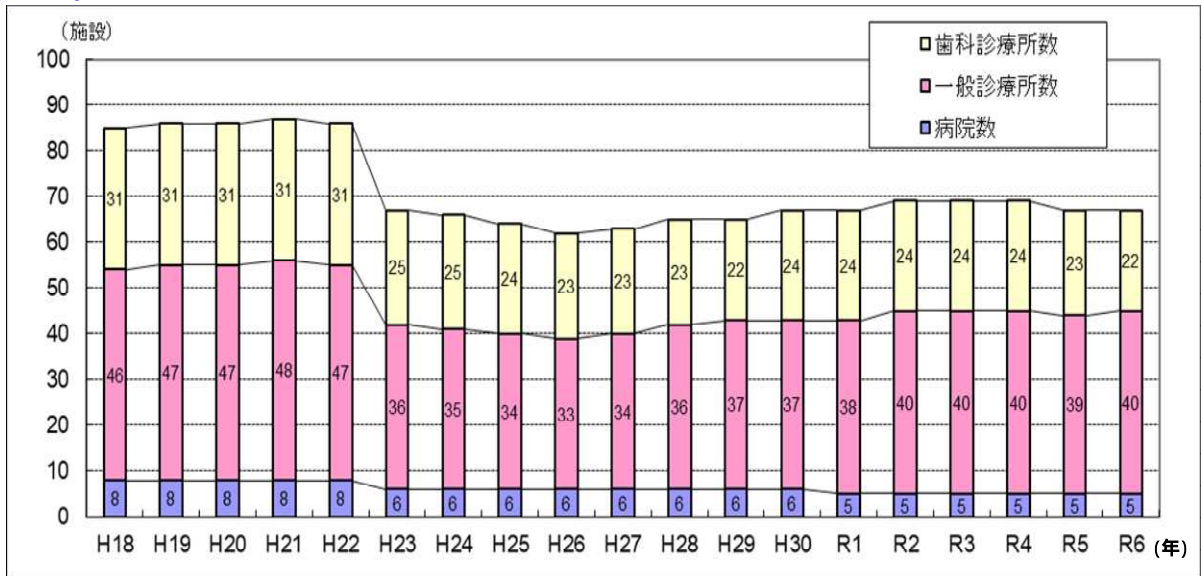
出典：福島県企画調整部統計課編「福島県統計年鑑」より作成  
%はパーミル：千分率

( 9 ) 生活保護法による保護率【13市比較】 / 令和6年度



出典：福島県企画調整部統計課編「福島県統計年鑑」より作成  
%はパーミル：

( 1 0 ) 医療施設数



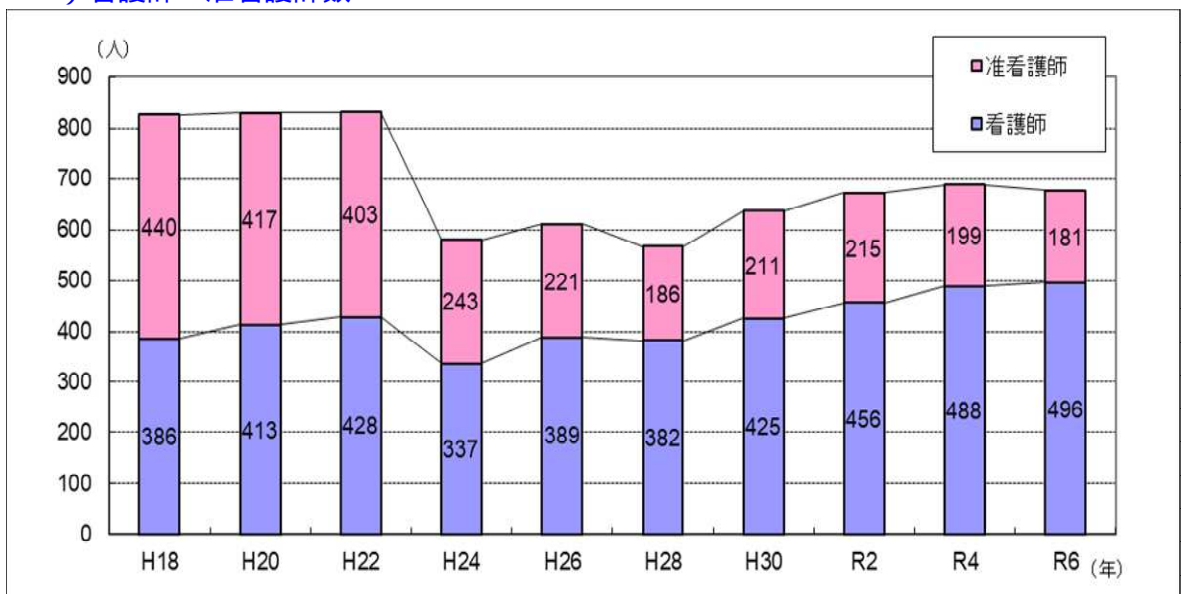
出典：厚生労働省「医療施設調査」

( 1 1 ) 医療従事者数



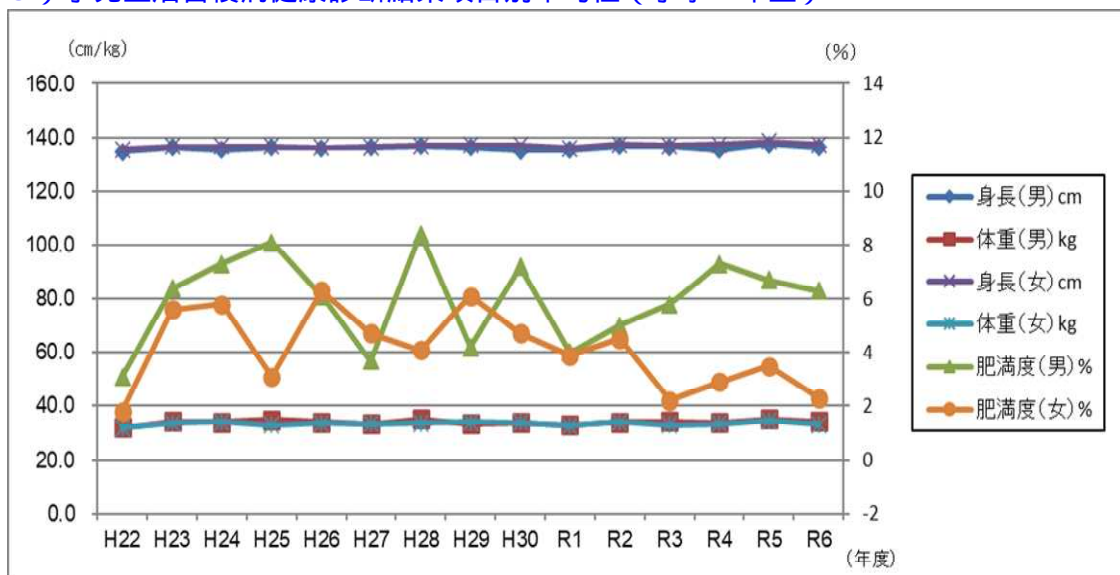
出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」（隔年12月31日現在）

( 1 2 ) 看護師・准看護師数



出典：福島県保健福祉部「看護職員等就業届出状況」（隔年12月31日現在）

( 1 3 ) 小児生活習慣病健康診断結果項目別平均値 (小学4年生)



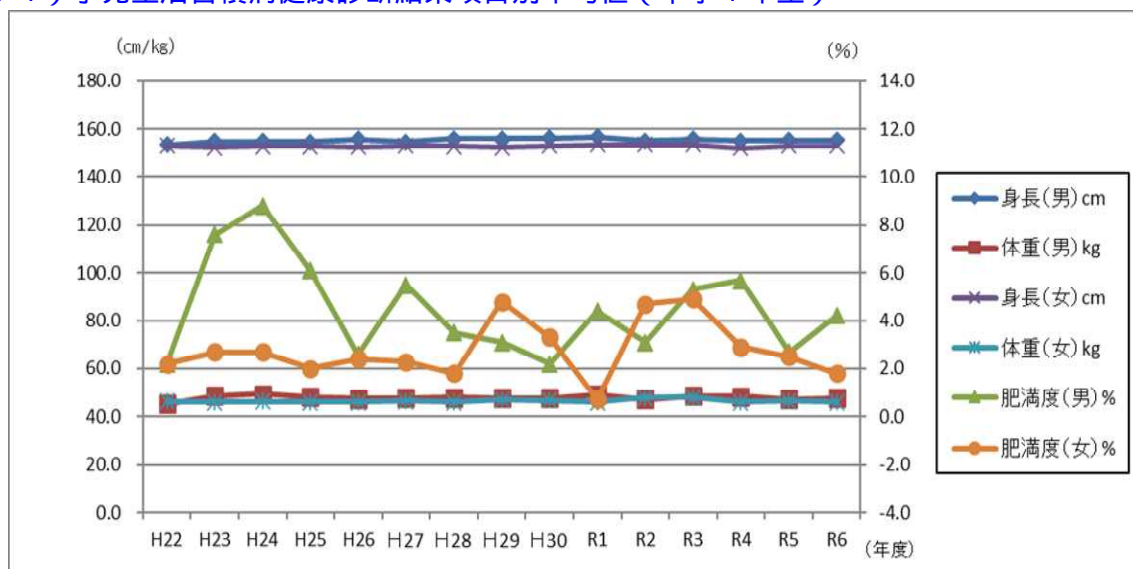
出典：南相馬市教育委員会「南相馬市の教育」

$$\text{肥満度}(\%) = (\text{実測体重} - \text{標準体重}) \div \text{標準体重} \times 100$$

$$\text{標準体重}(\text{kg}) = (\text{身長}(\text{cm}) - 100) \times 0.9$$

標準体重からのずれを百分率で表したものだが、0が標準(-10%~+15%が標準の範囲)

( 1 4 ) 小児生活習慣病健康診断結果項目別平均値 (中学1年生)



出典：南相馬市教育委員会「南相馬市の教育」

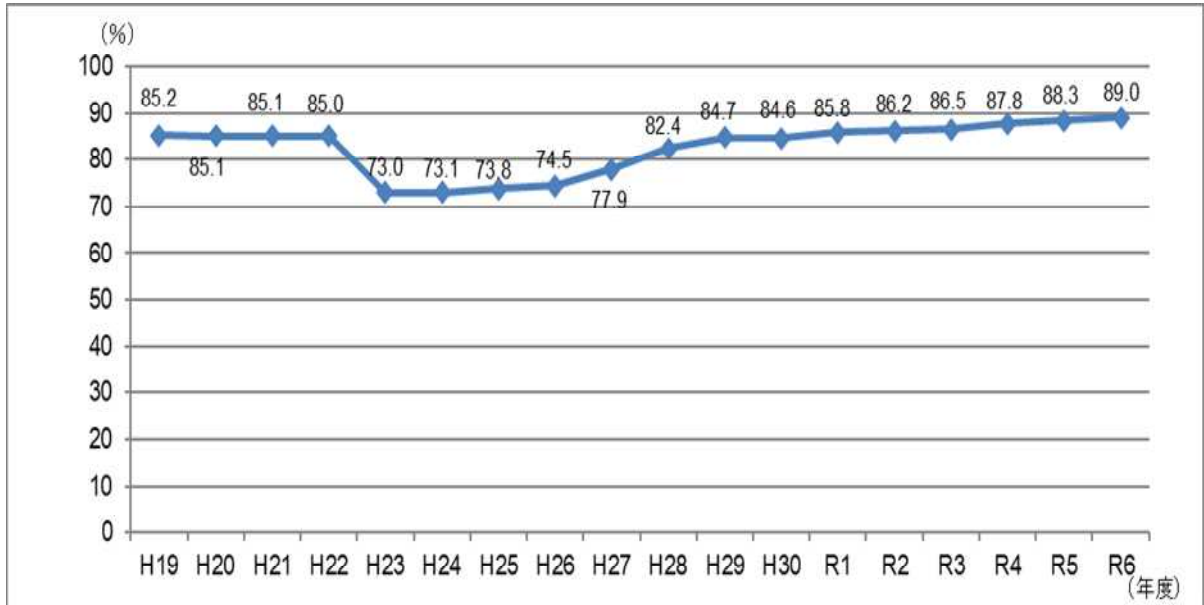
$$\text{肥満度}(\%) = (\text{実測体重} - \text{標準体重}) \div \text{標準体重} \times 100$$

$$\text{標準体重}(\text{kg}) = (\text{身長}(\text{cm}) - 100) \times 0.9$$

標準体重からのずれを百分率で表したものだが、0が標準(-10%~+15%が標準の範囲)

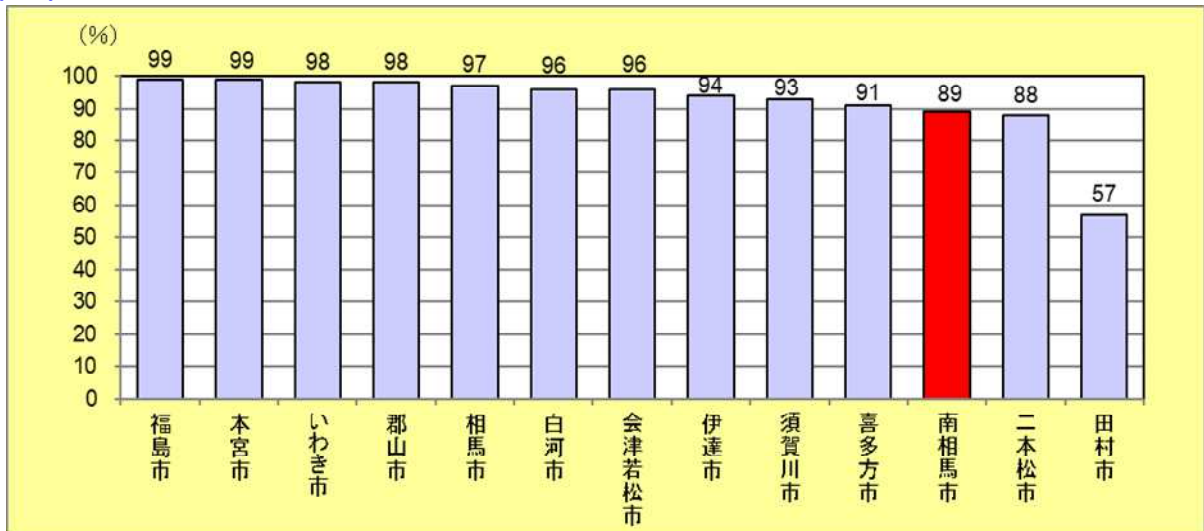
# 10 環境・安全

## (1) 上水道施設普及率



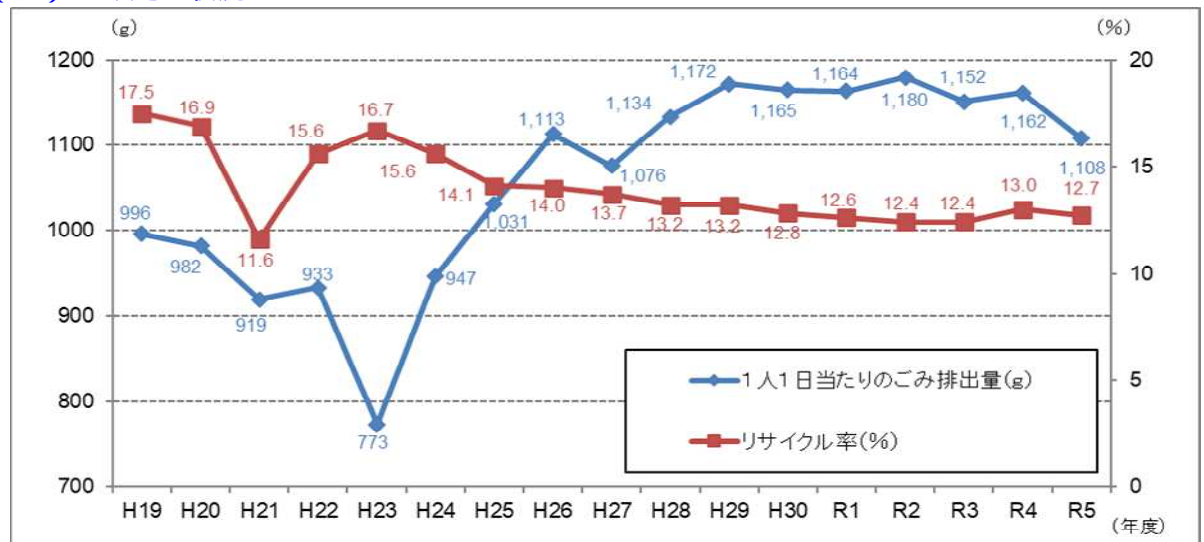
出典：福島県企画調整部統計課編「福島県統計年鑑」より作成  
 H22年度は、震災の影響で給水人口データを推計値にて算出  
 H23～27年度は、震災の影響で小高区の給水人口を0としている

## (2) 上水道施設普及率【13市比較】 / 令和6年度



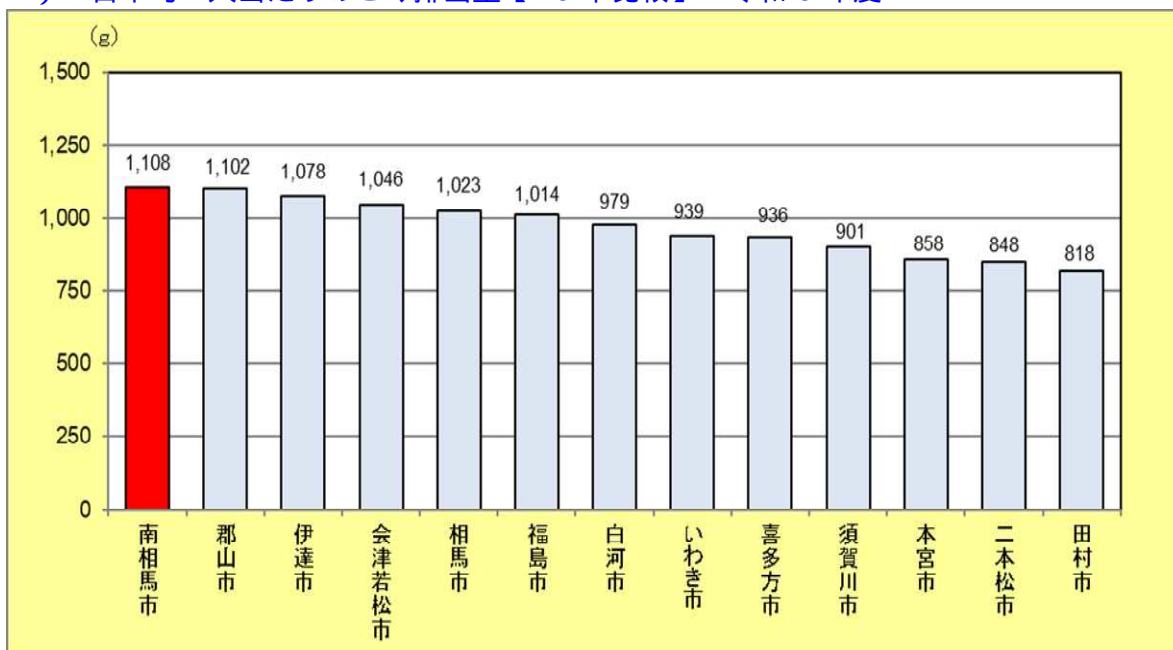
出典：福島県企画調整部統計課編「福島県統計年鑑」より作成

## (3) ごみ処理状況



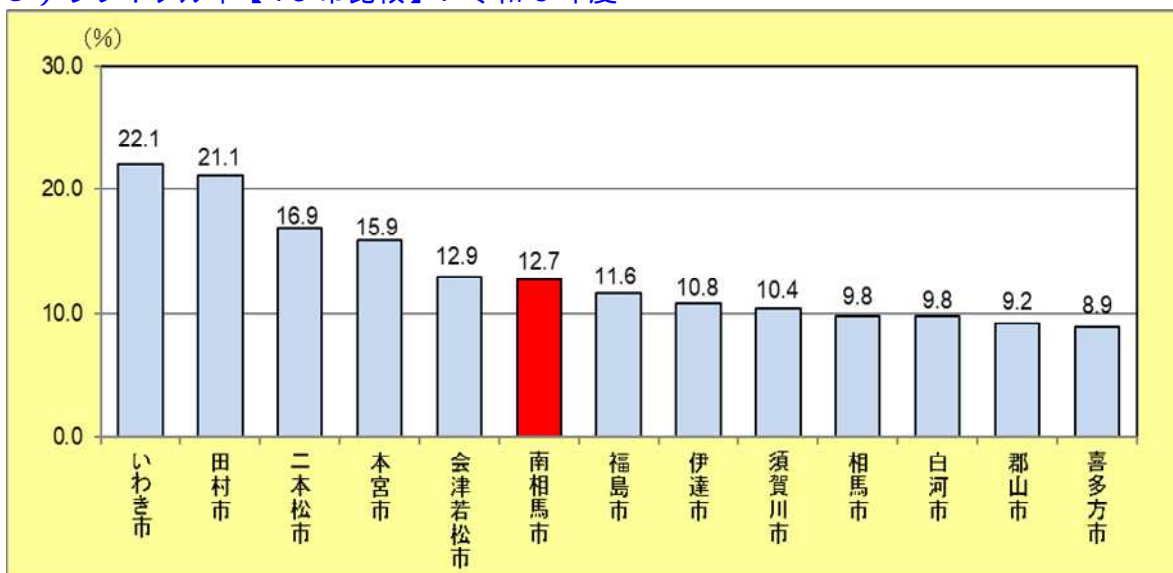
出典：福島県生活環境部「福島県の一般廃棄物処理の状況」

(4) 1日平均一人当たりのごみ排出量【13市比較】/令和5年度



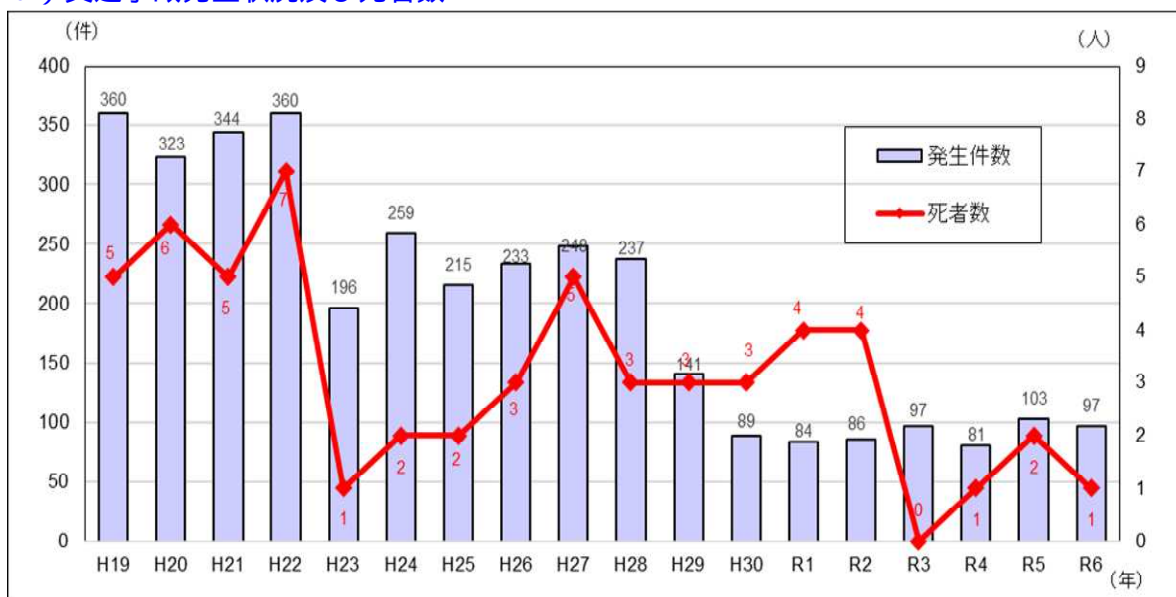
出典：福島県生活環境部「福島県の一般廃棄物処理の状況」

(5) リサイクル率【13市比較】/令和5年度



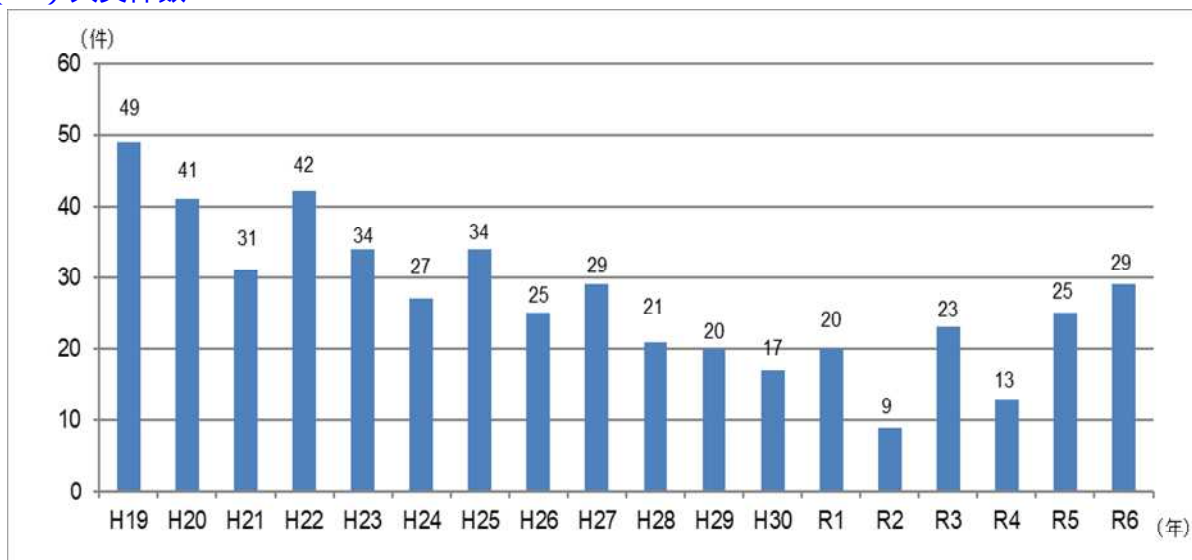
出典：福島県生活環境部「福島県の一般廃棄物処理の状況」

(6) 交通事故発生状況及び死者数



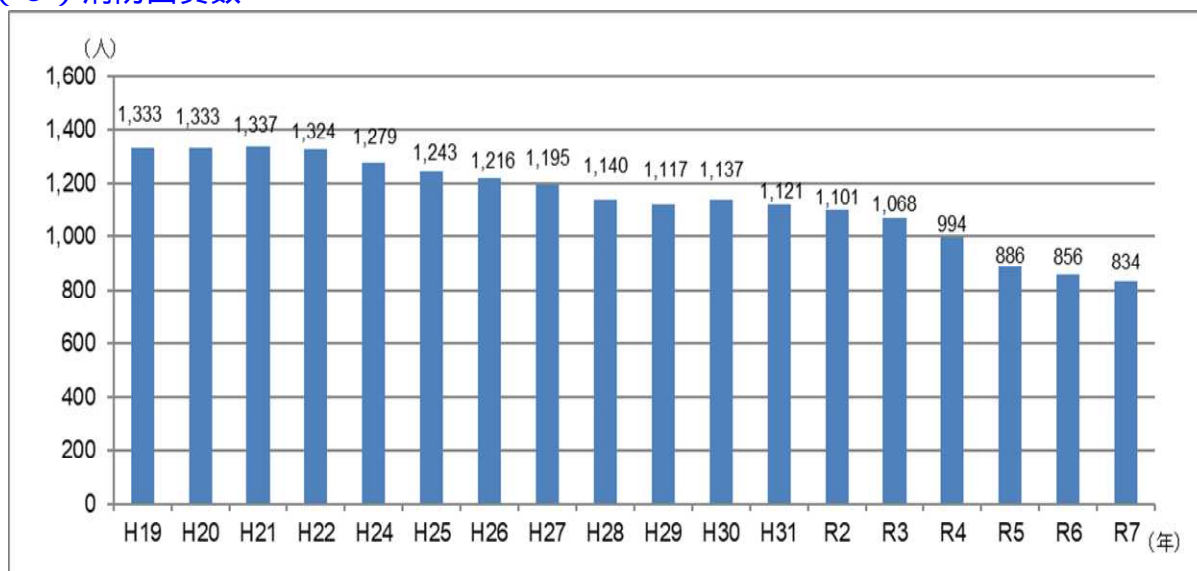
出典：福島県警察本部「交通白書」 物損事故は含まない

( 7 ) 火災件数



出典：相馬地方広域消防本部「消防年報」

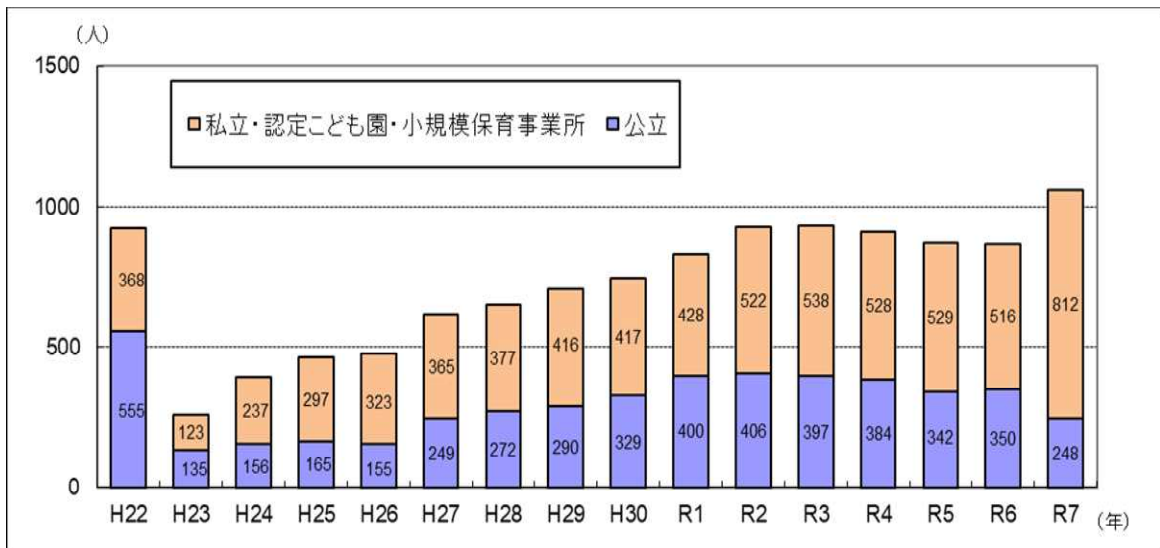
( 8 ) 消防団員数



出典：相馬地方広域消防本部「消防年報」  
H23年は統計なし

# 1 1 教育・文化

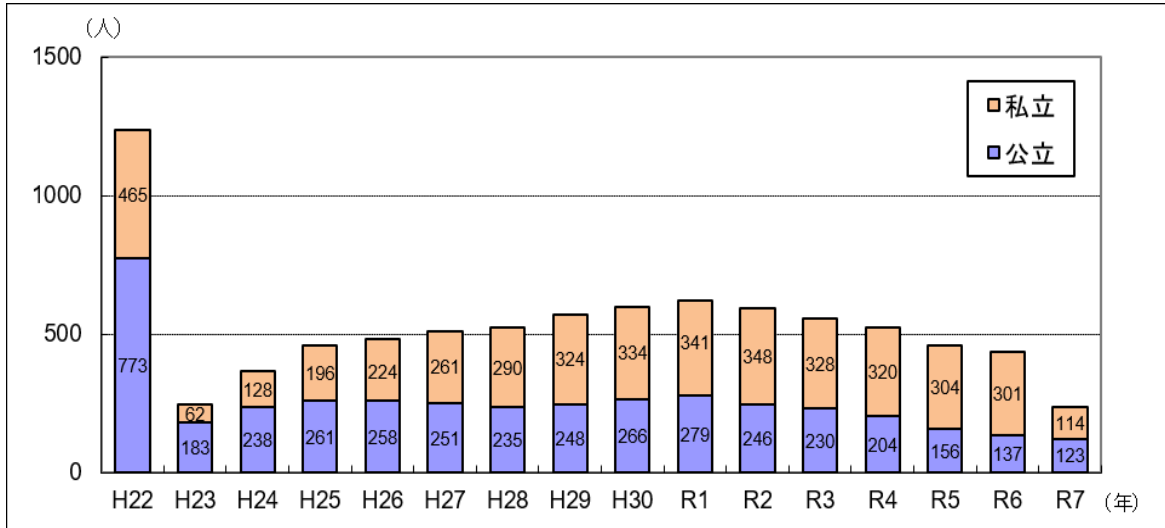
## (1) 保育園園児数



出典：南相馬市教育委員会「南相馬市の教育」

H23年は、震災の影響により全ての保育園が休園（各園再開時の園児数を集計）

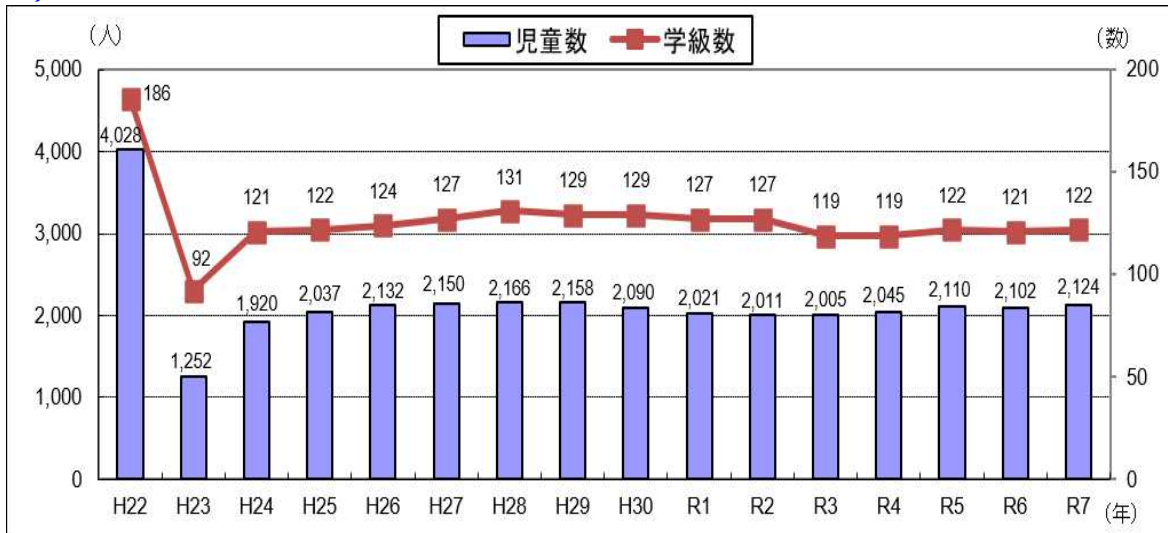
## (2) 幼稚園園児数



出典：南相馬市教育委員会「南相馬市の教育」

H23年は、震災の影響により全ての幼稚園が休園（各園再開時の園児数を集計）

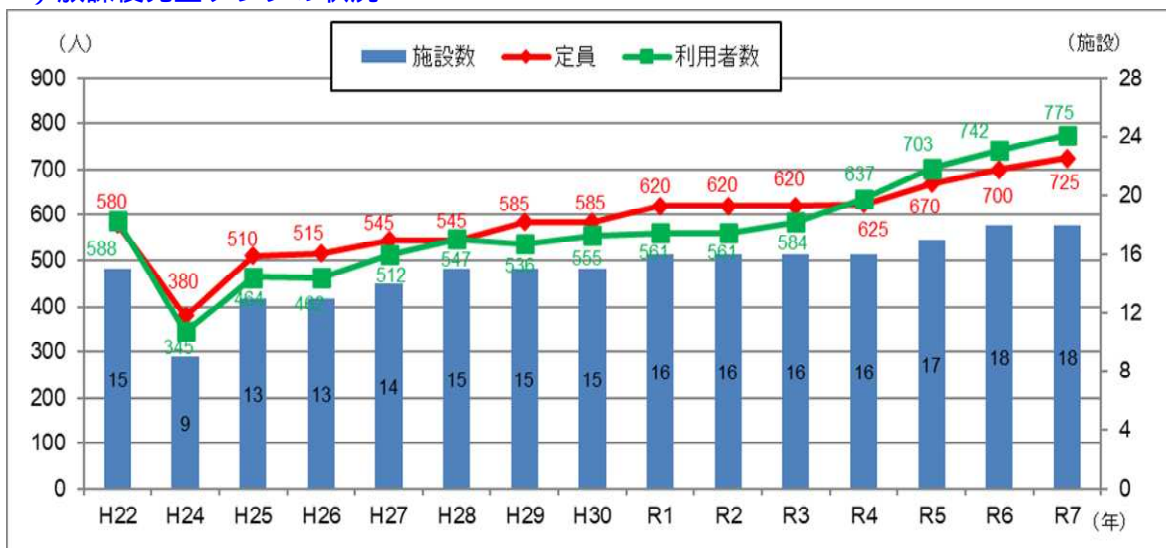
## (2) 小学校児童・学級数



出典：南相馬市教育委員会「南相馬市の教育」

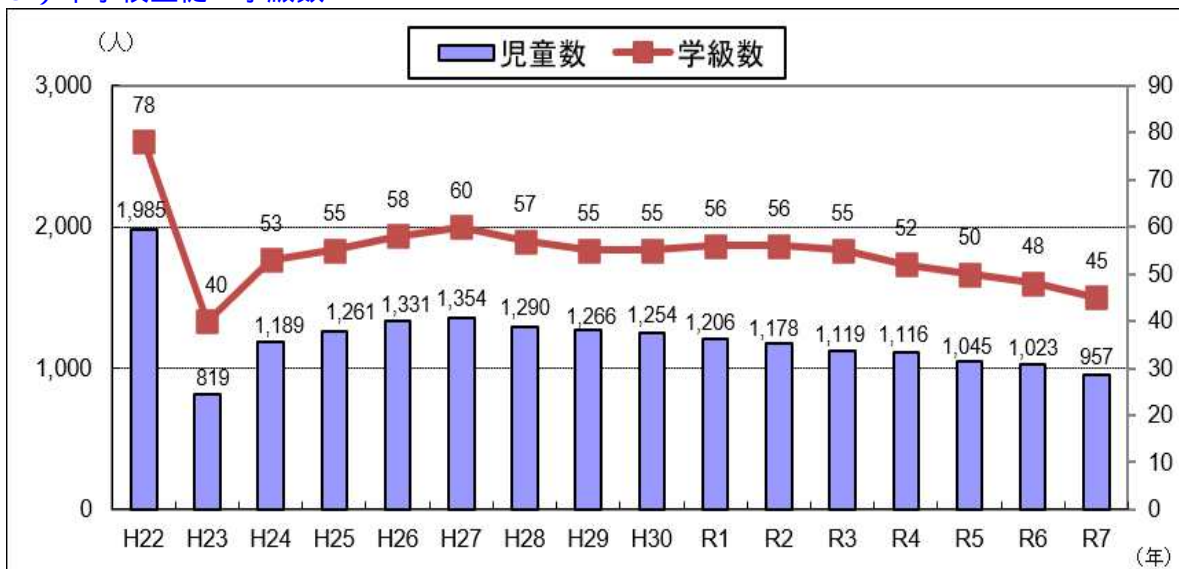
福島県統計課編「学校基本統計（学校基本調査報告書）」

(4) 放課後児童クラブの状況



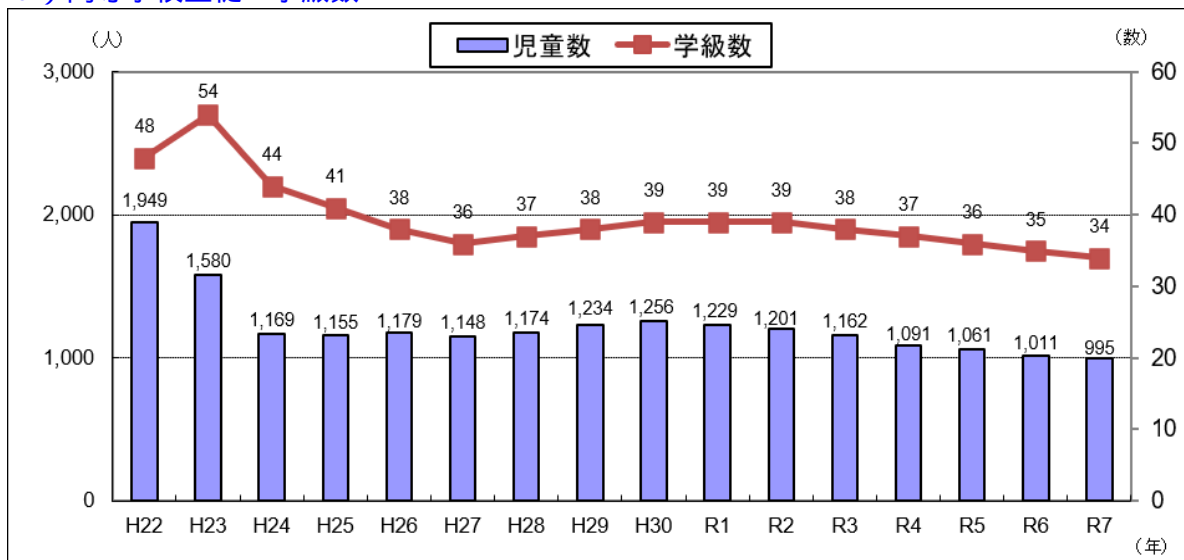
出典：南相馬市教育委員会「南相馬市の教育」  
社会福祉協議会設置の施設及び休止中の施設を除く  
H23年は統計なし

(5) 中学校生徒・学級数



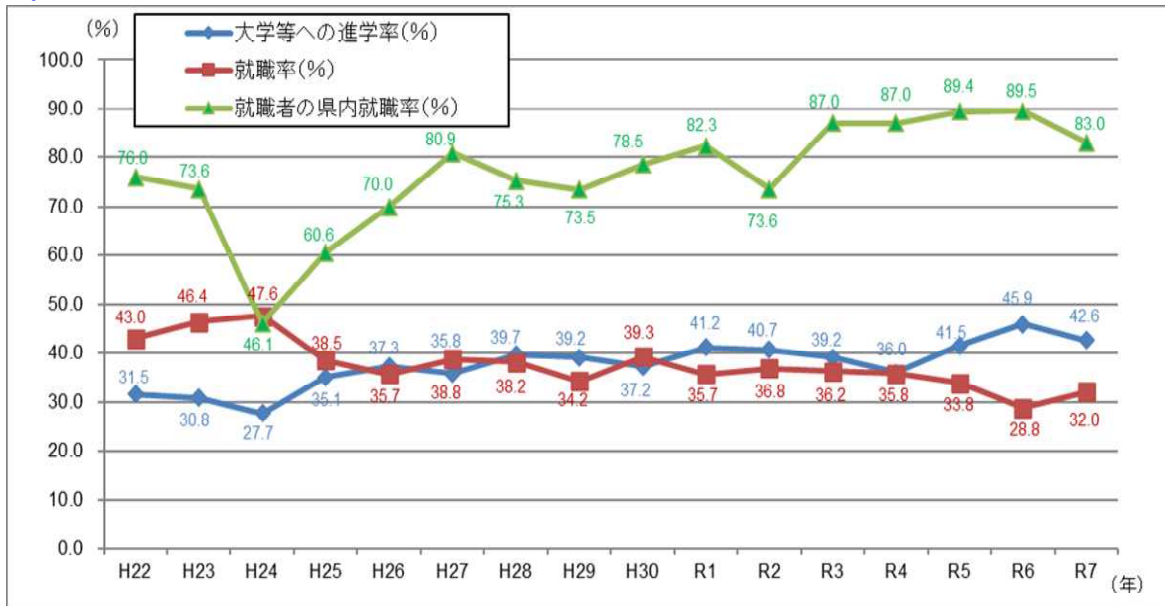
出典：南相馬市教育委員会「南相馬市の教育」  
福島県統計課編「学校基本統計（学校基本調査報告書）」

(6) 高等学校生徒・学級数



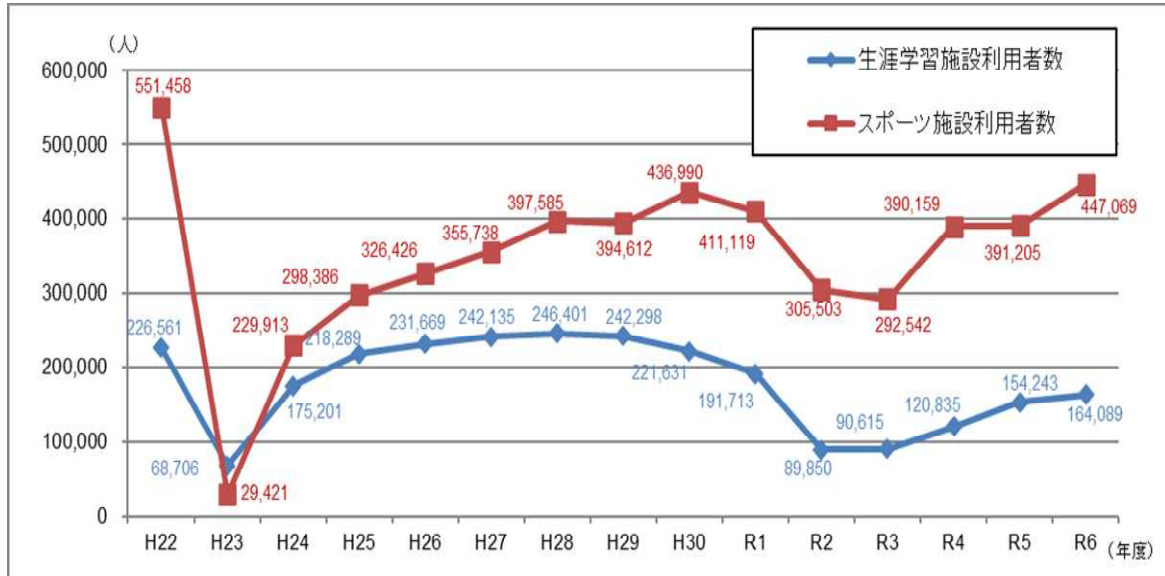
出典：福島県統計課編「学校基本統計（学校基本調査報告書）」から作成

(7) 市内高等学校卒業後の状況



出典：福島県統計課編「学校基本統計（学校基本調査報告書）」から作成  
（大学等：大学、短期大学）

(8) 生涯学習施設・スポーツ施設利用者数



出典：南相馬市教育委員会「南相馬市の教育」  
H23年度～R1年度は、震災の影響により一部の施設が利用休止

南相馬市統計集「まちDス2025」

令和8年3月

発行 / 南相馬市

編集 / 復興企画部デジタル推進課

〒975-8686

福島県南相馬市原町区本町二丁目27番地

電話 0244-24-5412